

# 人口の将来展望に必要な調査・分析 (アンケート・ヒアリング調査の結果)



# 1 アンケート調査結果

## 高校生アンケート調査

# 1 通学する高校とお住まいの市町村

## (1) 回答者の内訳 (通学する高校)

高校名	R1 (n=1,769)	
	回答数	構成比
日立一高	144	8.2%
日立二高	214	12.1%
日立北高	227	12.8%
日立工業	152	8.6%
日立商業	190	10.7%
多賀	234	13.3%
茨城キリスト	268	15.1%
明秀学園	340	19.2%
<b>計</b>	<b>1,769</b>	<b>100</b>

## (2) 回答者の割合 (お住まいの市町村)

市町村名	R1(n=1,764)	
	回答数	構成比
日立市	1,071	60.7%
常陸太田市	29	1.7%
高萩市	177	10.0%
東海村	79	4.5%
那珂市	18	1.0%
ひたちなか市	97	5.5%
常陸大宮市	3	0.2%
北茨城市	187	10.6%
大子町	0	0.0%
水戸市	36	2.0%
その他（県内）	15	0.9%
その他（県外）	52	2.9%
<b>計</b>	<b>1,764</b>	<b>100</b>

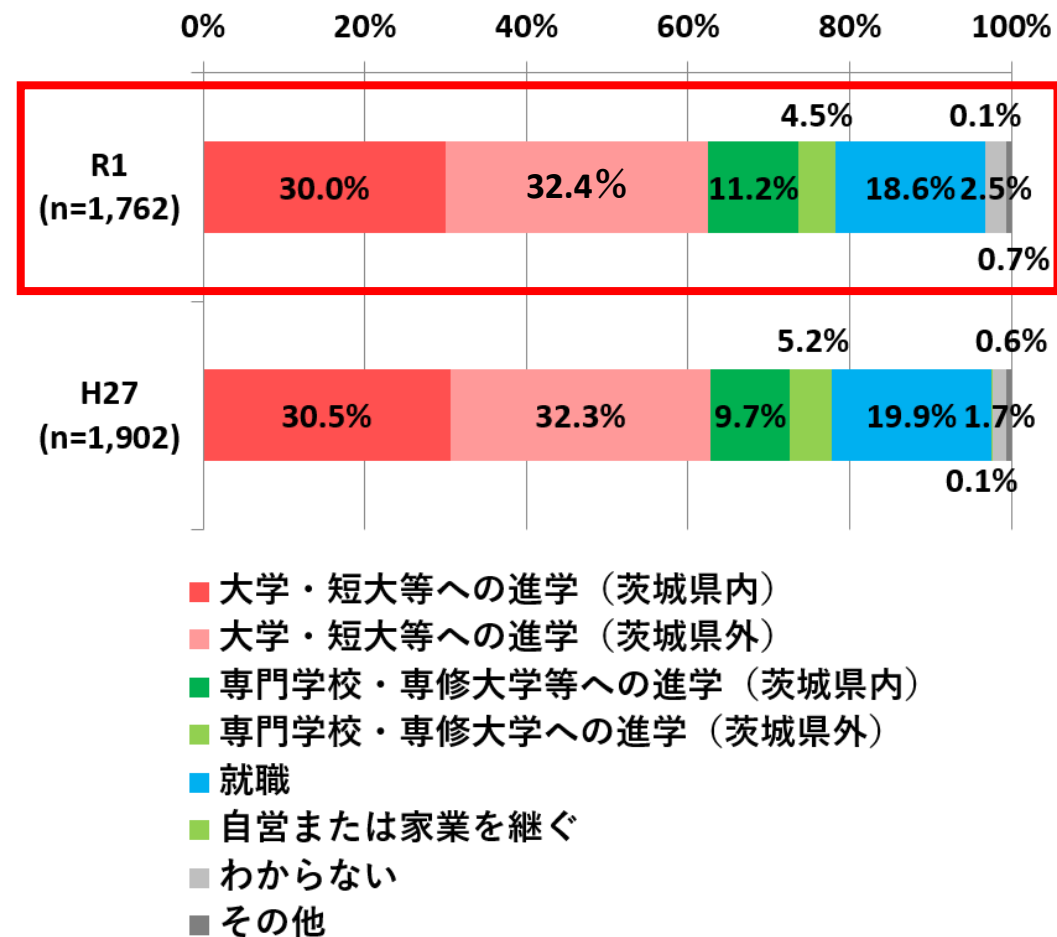
※無回答 5件

## 2 卒業後に希望する進路（全体）

- 大学・短大進学希望者は、前回とほぼ変わらず62.4%  
（県内30.0%、県外32.4%）
- 専門学校等を含む県内への進学希望は41.2%、就職希望は18.6%
- 就職希望の割合がわずかに低下し、「わからない」の割合が増加

単一回答

選択肢	R1 (n=1,762)		H27 (n=1,902)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 大学・短大等への進学（茨城県内）	528	30.0%	581	30.5%
2 大学・短大等への進学（茨城県外）	573	32.4%	614	32.3%
3 専門学校・専修大学等への進学（茨城県内）	197	11.2%	185	9.7%
4 専門学校・専修大学への進学（茨城県外）	80	4.5%	98	5.2%
5 就職	327	18.6%	378	19.9%
6 自営または家業を継ぐ	1	0.1%	1	0.1%
7 わからない	44	2.5%	33	1.7%
8 その他	12	0.7%	12	0.6%
計	1,762	100	1,902	100

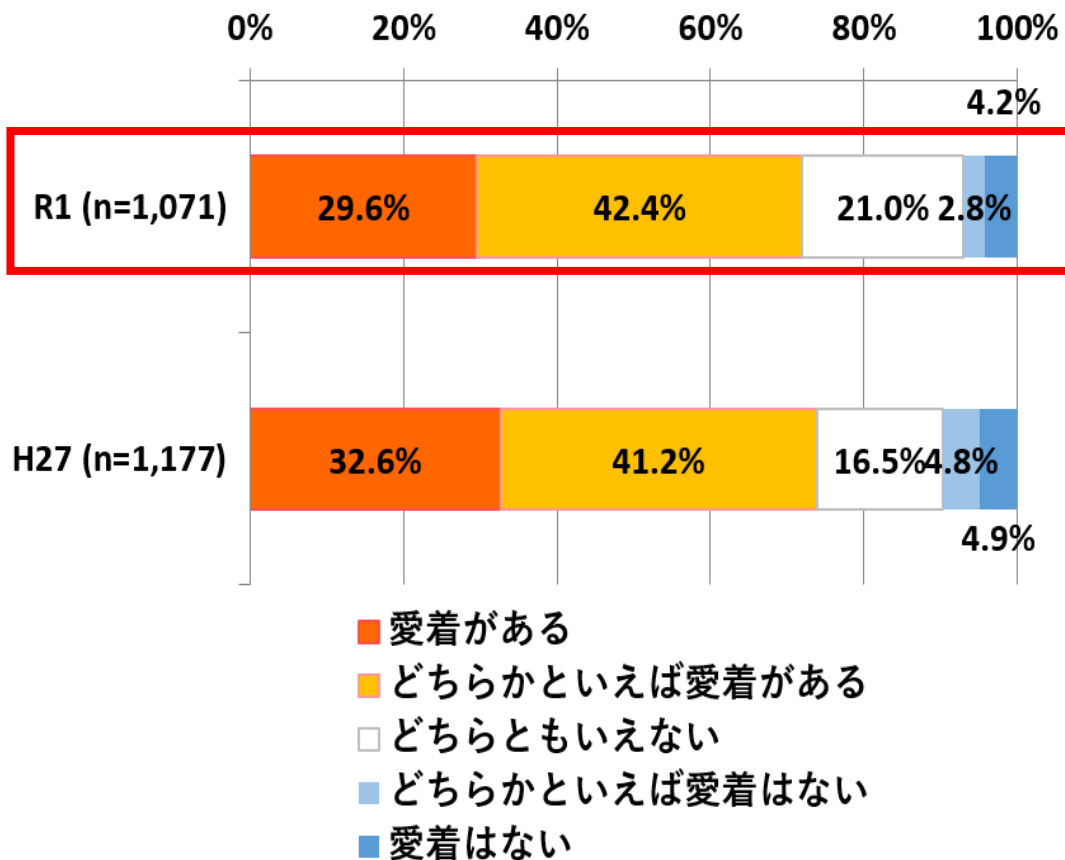


### 3 日立市への愛着（日立市内居住者）

- 「愛着がある」、「どちらかといえば愛着がある」の割合は72.0%で、前回とほぼ同じ傾向だが、「愛着がある」の割合は前回比1.8ポイント低下
- 「愛着はない」、「どちらかといえば愛着はない」の割合は7.0%で、前回比2.7ポイント低下
- 「どちらともいえない」の割合が前回比4.5ポイント増加

単一回答

選択肢	R1 (n=1,071)		H27 (n=1,177)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 愛着がある	317	29.6%	384	32.6%
2 どちらかといえば愛着がある	454	42.4%	485	41.2%
3 どちらともいえない	225	21.0%	194	16.5%
4 どちらかといえば愛着はない	30	2.8%	56	4.8%
5 愛着はない	45	4.2%	58	4.9%
計	1,071	100	1,177	100



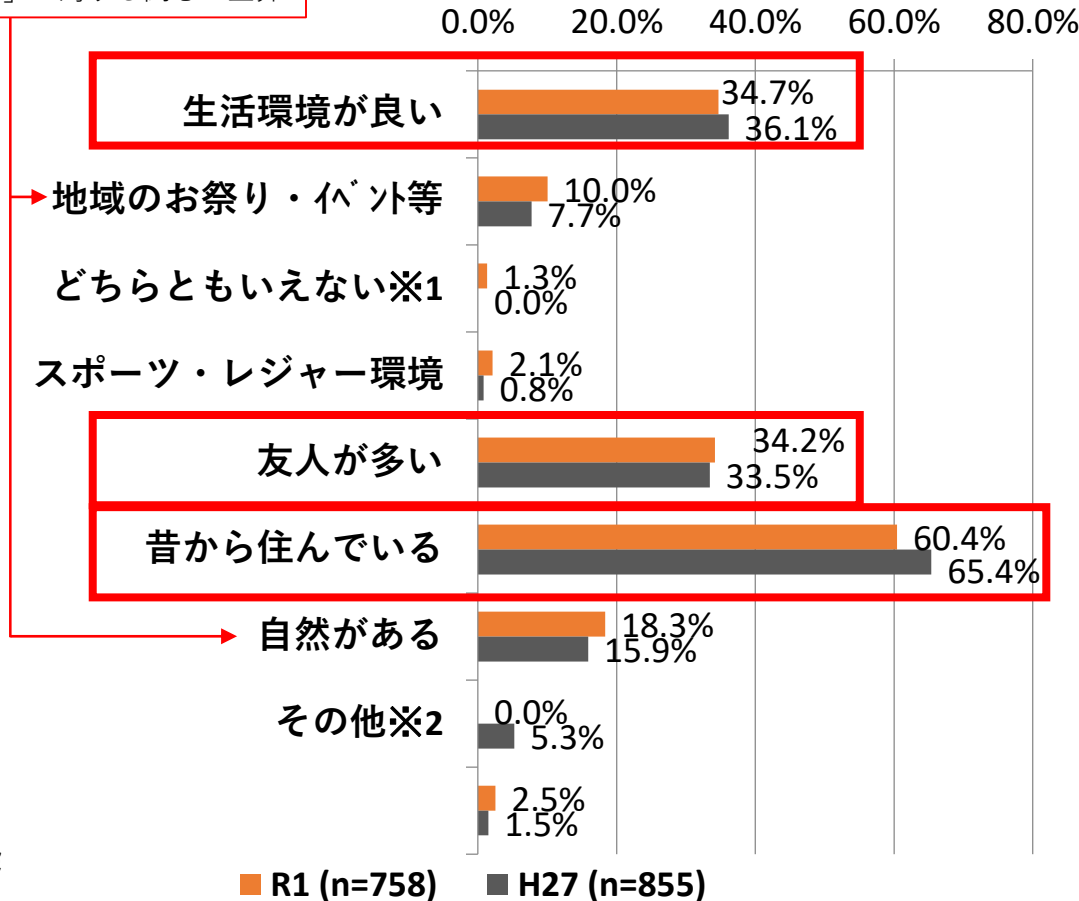
# 4 日立市に【愛着がある】と感じる理由（日立市内居住者）

- 「昔から住んでいる」の割合が60.4%と最も高く、次いで「生活環境が良い」、「友人が多い」が高い
- 前回比では、「昔から住んでいる」、「生活環境が良い」の割合が低下し、「地域のお祭り・イベント等」、「自然がある」が上昇

地域の「らしさ」に対する関心の上昇

複数回答：2つまで

選択肢	R1 (n=758)		H27 (n=855)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 生活環境が良い	263	34.7%	309	36.1%
2 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りがある	76	10.0%	66	7.7%
3 どちらともいえない※1	10	1.3%	-	-
4 スポーツ・レジャー環境が充実している	16	2.1%	7	0.8%
5 友人が多い	259	34.2%	286	33.5%
6 昔から住んでいる	458	60.4%	559	65.4%
7 自然がある	139	18.3%	136	15.9%
8 交通の利便性が良い※2	-	-	45	5.3%
9 その他	19	2.5%	13	1.5%
計	1,240	-	1,421	-



※1 H27に「どちらともいえない」の項目はない

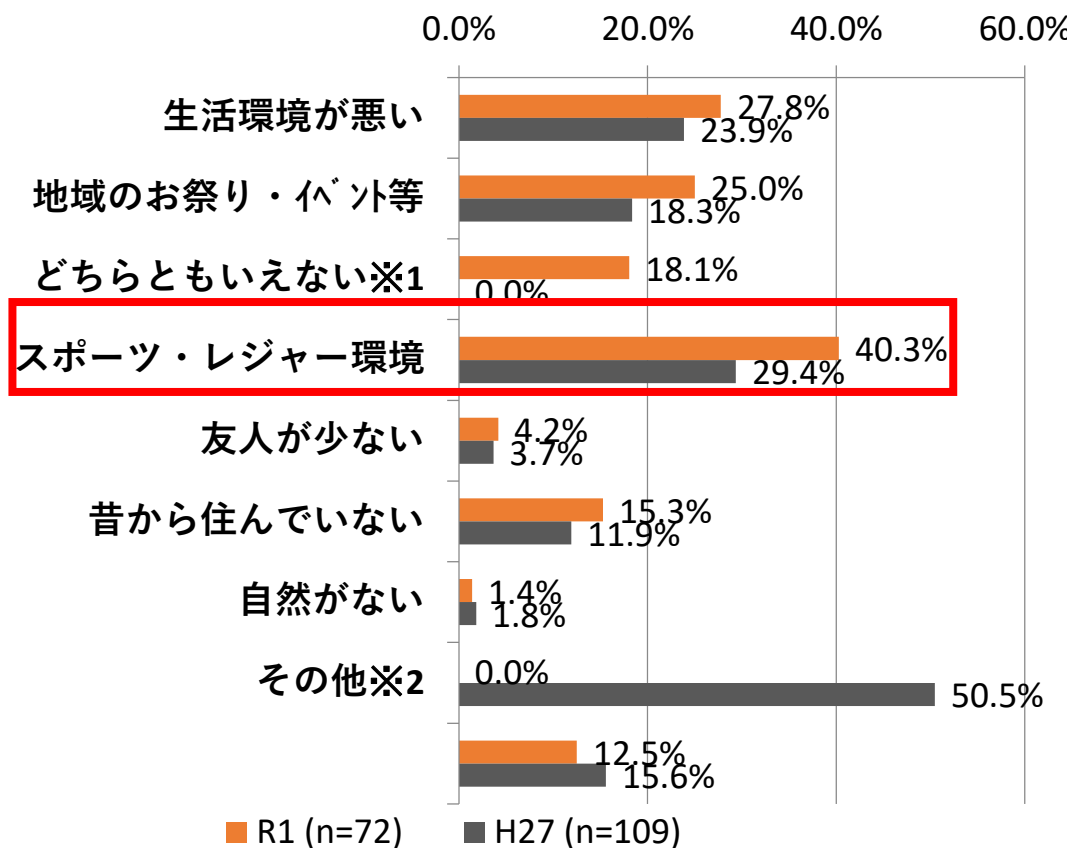
※2 R1に「交通の利便性が良い」の項目はない(愛着に馴染まないため)

## 5 日立市に【愛着がない】と感じる理由（日立市内居住者）

- 「スポーツ・レジャー環境が不十分」の割合が40.3%と最も高く、前回と比較して大きく上昇

複数回答：2つまで

選択肢	R1 (n=72)		H27 (n=109)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 生活環境が悪い	20	27.8%	26	23.9%
2 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りがない	18	25.0%	20	18.3%
3 どちらともいえない※1	13	18.1%	-	-
4 スポーツ・レジャー環境が不十分	29	40.3%	32	29.4%
5 友人が少ない	3	4.2%	4	3.7%
6 昔から住んでいない	11	15.3%	13	11.9%
7 自然がない	1	1.4%	2	1.8%
8 交通の利便性が悪い※2	-	-	55	50.5%
9 その他	9	12.5%	17	15.6%
計	104	-	169	-



※1 H27に「どちらともいえない」の項目はない

※2 R1に「交通の利便性が悪い」の項目はない(愛着に馴染まないため)

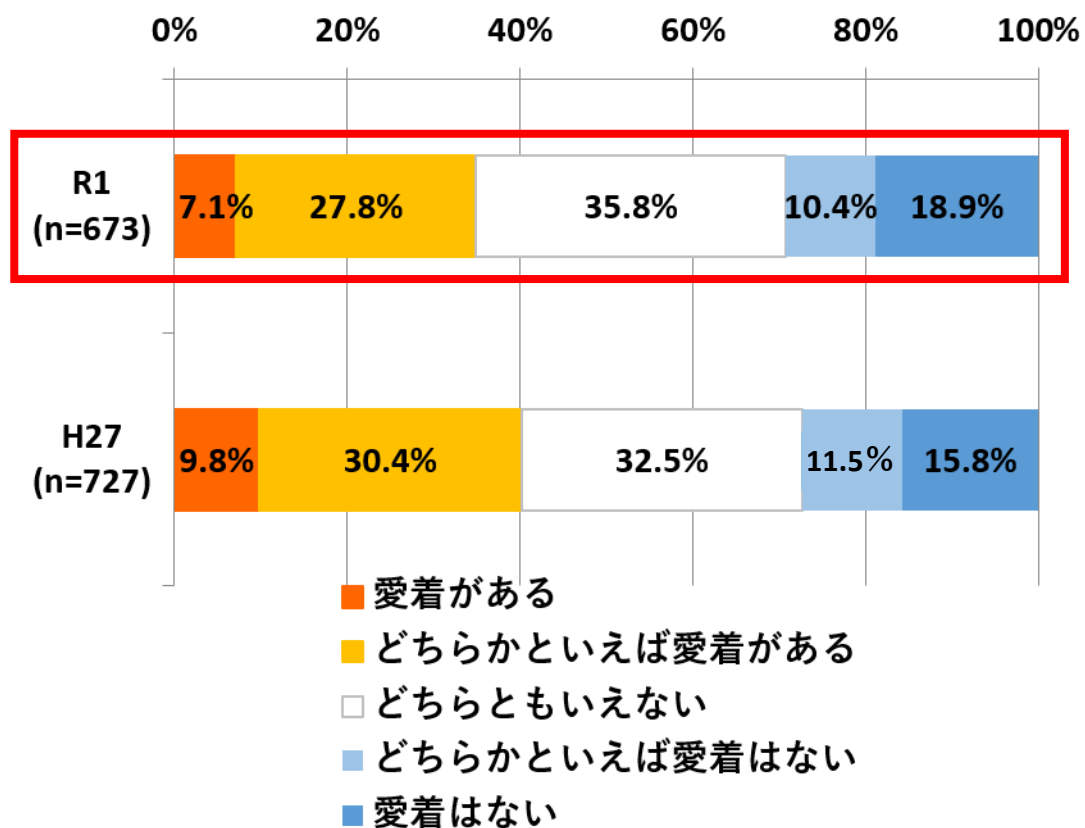


## 6 日立市への愛着（日立市外居住者）

- 「愛着がある」、「どちらかといえば愛着がある」の割合が34.9%となり、前回比5.3ポイント低下
- 一方、「愛着はない」、「どちらかといえば愛着はない」の割合が29.3%となり、前回比2ポイント上昇
- 「どちらともいえない」の割合は、前回比3.3ポイント上昇

単一回答

選択肢	R1 (n=673)		H27 (n=727)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 愛着がある	48	7.1%	71	9.8%
2 どちらかといえば愛着がある	187	27.8%	221	30.4%
3 どちらともいえない	241	35.8%	236	32.5%
4 どちらかといえば愛着はない	70	10.4%	84	11.5%
5 愛着はない	127	18.9%	115	15.8%
計	673	100	727	100



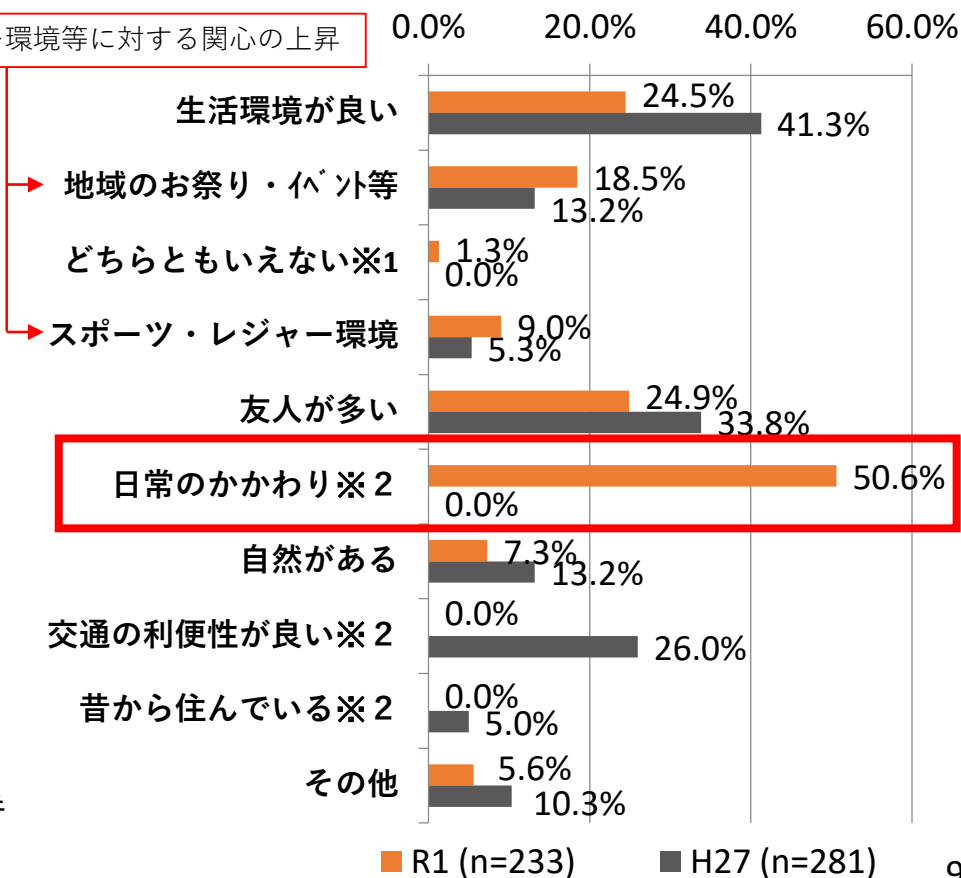
# 7 日立市に【愛着がある】と感じる理由（日立市外居住者）

- 「日常のかかわり（居住・通学・買い物等）がある」の割合が50.6%と最も高い
- 前回比では、「地域のお祭り・イベント等」、「スポーツ・レジャー環境」の割合が上昇
- 一方、「生活環境が良い」の割合が大きく低下し、「友人が多い」、「自然がある」の割合も低下

複数回答：2つまで

地域との関わり、レジャー環境等に対する関心の上昇

選択肢	R1 (n=233)		H27(n=281)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 生活環境が良い	57	24.5%	116	41.3%
2 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りがある	43	18.5%	37	13.2%
3 どちらともいえない※1	3	1.3%	-	-
4 スポーツ・レジャー環境が充実している	21	9.0%	15	5.3%
5 友人が多い	58	24.9%	95	33.8%
6 日常のかかわり（居住・通学・買い物等）がある※2	118	50.6%	-	-
7 自然がある	17	7.3%	37	13.2%
8 交通の利便性が良い※2	-	-	73	26.0%
9 昔から住んでいる※2	-	-	14	5.0%
10 その他	13	5.6%	29	10.3%
計	330	-	416	-



※1 H27に「どちらともいえない」の項目はない

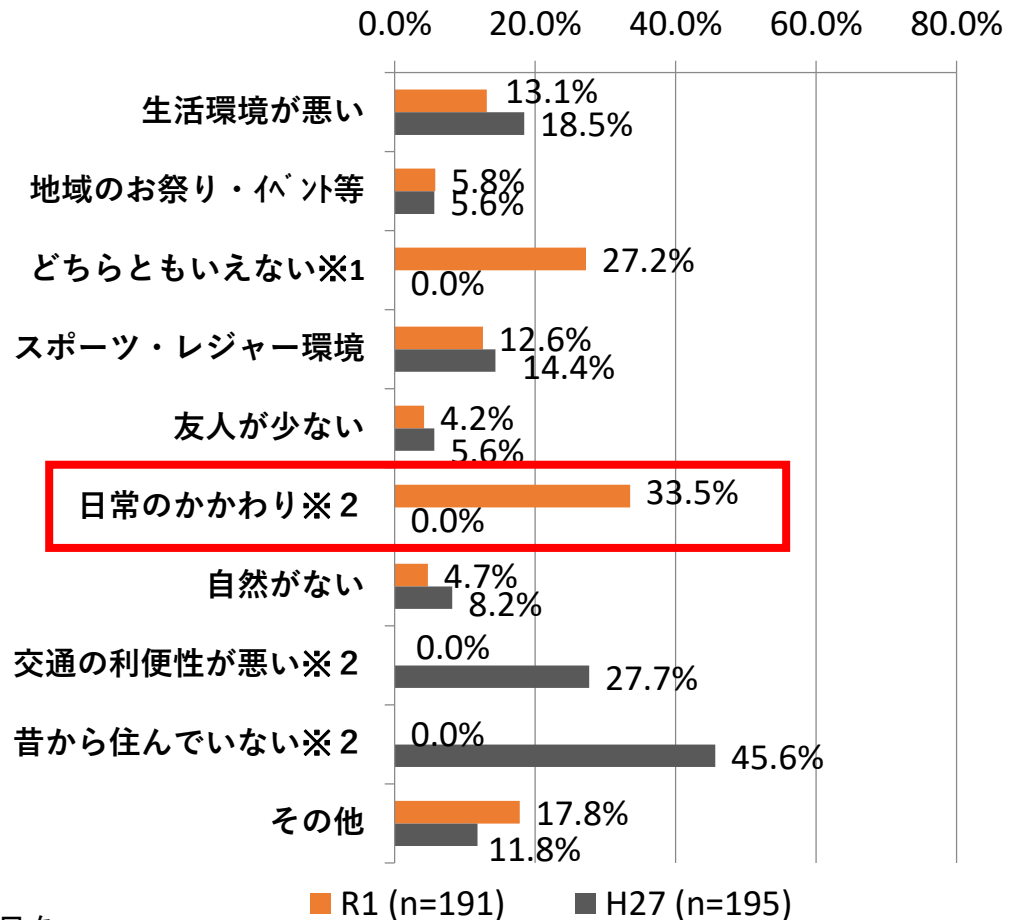
※2 R1は「交通の利便性が良い」、「昔から住んでいる」の項目を併せて「日常のかかわりがあるから」として調査した。

# 8 日立市に【愛着がない】と感じる理由（日立市外居住者）

- 「日常のかかわり（居住・通学・買い物等）がない」の割合が33.5%と最も高い

複数回答：2つまで

選択肢	R1 (n=191)		H27(n=195)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 生活環境が悪い	25	13.1%	36	18.5%
2 地域のお祭り・イベント・歴史等に誇りが無い	11	5.8%	11	5.6%
3 どちらともいえない※1	52	27.2%	-	-
4 スポーツ・レジャー環境が不十分である	24	12.6%	28	14.4%
5 友人が少ない	8	4.2%	11	5.6%
6 日常のかかわり（居住・通学・買い物等）がない※2	64	33.5%	-	-
7 自然がない	9	4.7%	16	8.2%
8 交通の利便性が悪い※2	-	-	54	27.7%
9 昔から住んでいない※2	-	-	89	45.6%
10 その他	34	17.8%	23	11.8%
計	227	-	268	-



※1 H27に「どちらともいえない」の項目はない

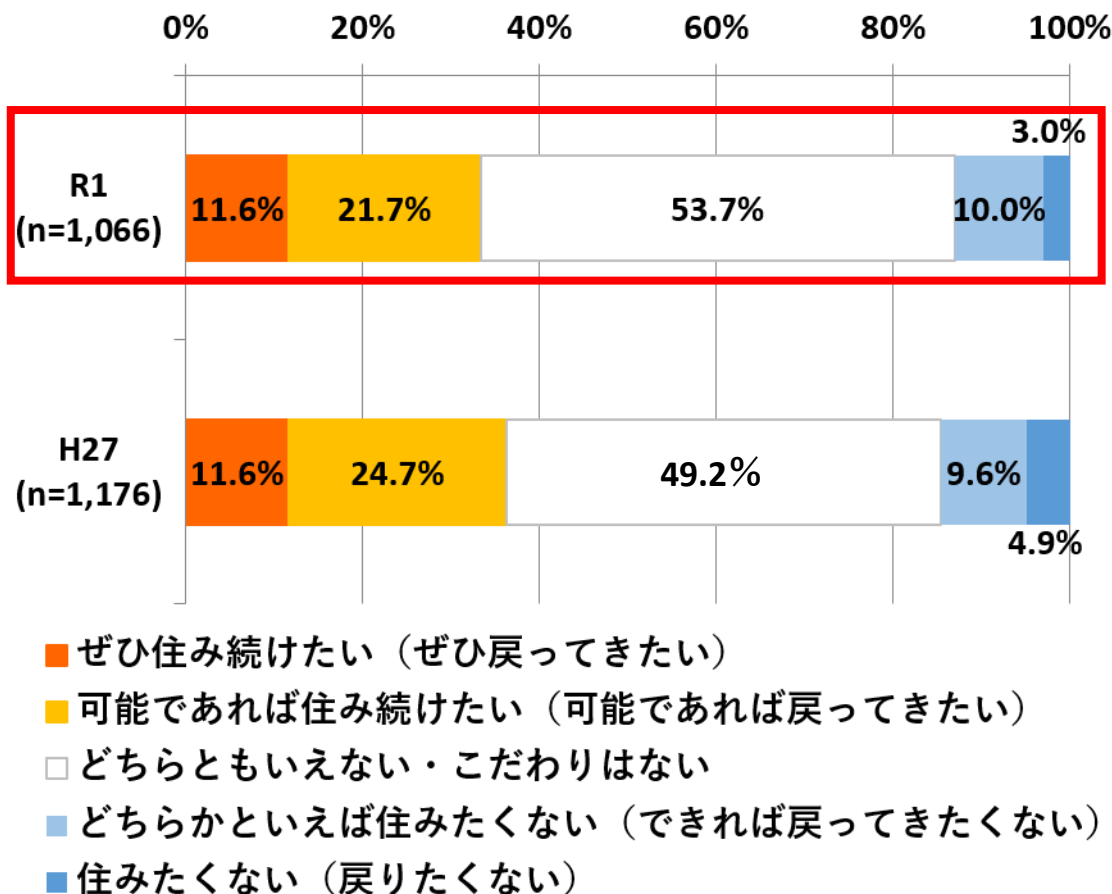
※2 R1は「交通の利便性が悪い」、「昔から住んでいない」の項目を併せて「日常のかかわりがあるから」として調査した。

## 9 将来、日立市に住み続けたいか（日立市内居住者）

- 「どちらともいえない・こだわりはない」の割合が50%超となり、前回比4.5ポイント上昇
- 「住み続けたい（戻ってきたい）」、「可能であれば住み続けたい（可能であれば戻りたい）」の割合は約33%となり、前回比3ポイント低下

単一回答

選択肢	R1(n=1,066)		H27 (n=1,176)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ぜひ住み続けたい (ぜひ戻ってきたい)	124	11.6%	136	11.6%
2 可能であれば住み続けたい (可能であれば戻ってきたい)	231	21.7%	291	24.7%
3 どちらともいえない・ こだわりはない	572	53.7%	578	49.2%
4 どちらかといえば住み たくない(できれば 戻ってきたくない)	107	10.0%	113	9.6%
5 住みたくない (戻りたくない)	32	3.0%	58	4.9%
計	1,066	100	1,176	100



# 10 「住みたい（戻りたい）」と考える理由（日立市内居住者）

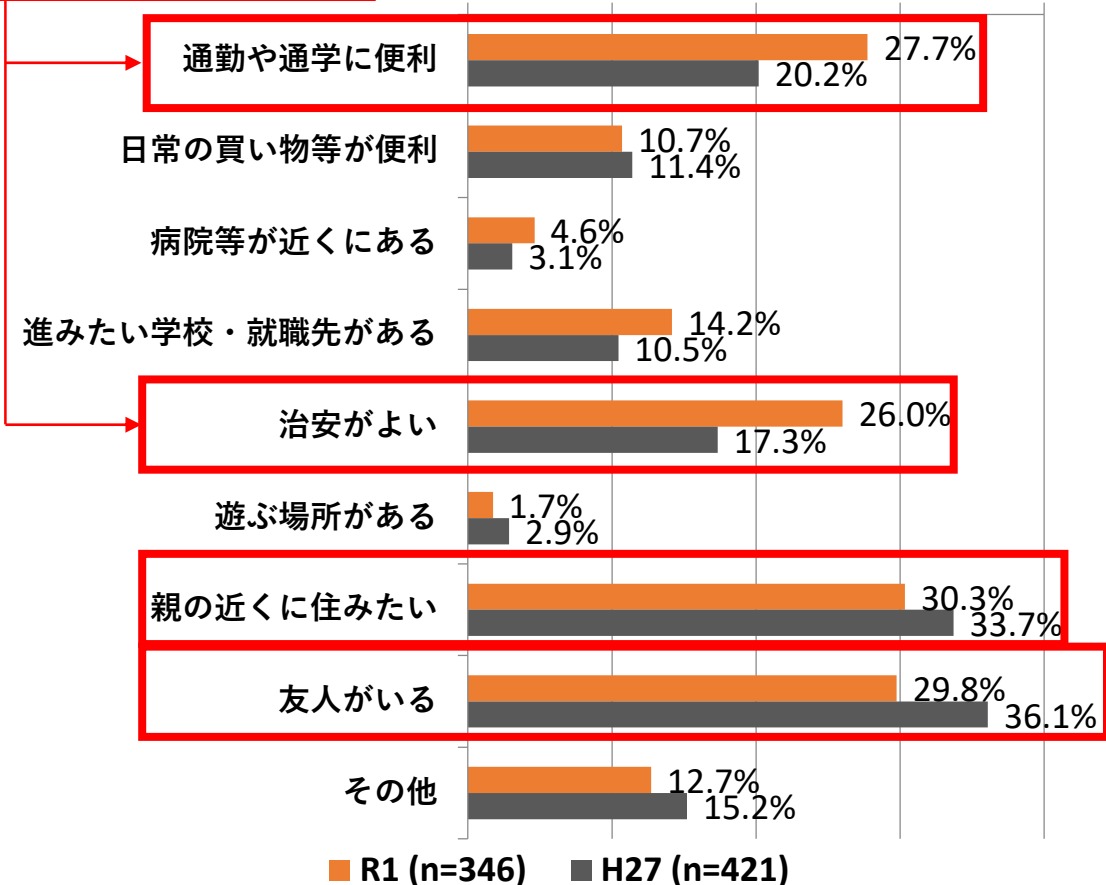
- 「親の近くに住みたい」の割合が30.3%と最も高く、次いで「友人がいる」、「通勤や通学に便利」、「治安がよい」が高い
- 前回比では「通勤や通学に便利」、「治安がよい」の割合が上昇し、「親の近くに住みたい」、「友人がいる」が低下

複数回答：2つまで

交通の利便性、日常の安全等に対する関心の上昇

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%

選択肢	R1 (n=346)		H27 (n=421)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 通勤や通学に便利	96	27.7%	85	20.2%
2 日常の買い物等が便利	37	10.7%	48	11.4%
3 病院等が近くにある	16	4.6%	13	3.1%
4 進みたい学校・就職先がある	49	14.2%	44	10.5%
5 治安がよい	90	26.0%	73	17.3%
6 遊ぶ場所がある	6	1.7%	12	2.9%
7 親の近くに住みたい	105	30.3%	142	33.7%
8 友人がいる	103	29.8%	152	36.1%
9 その他	44	12.7%	64	15.2%
計	546	-	633	-

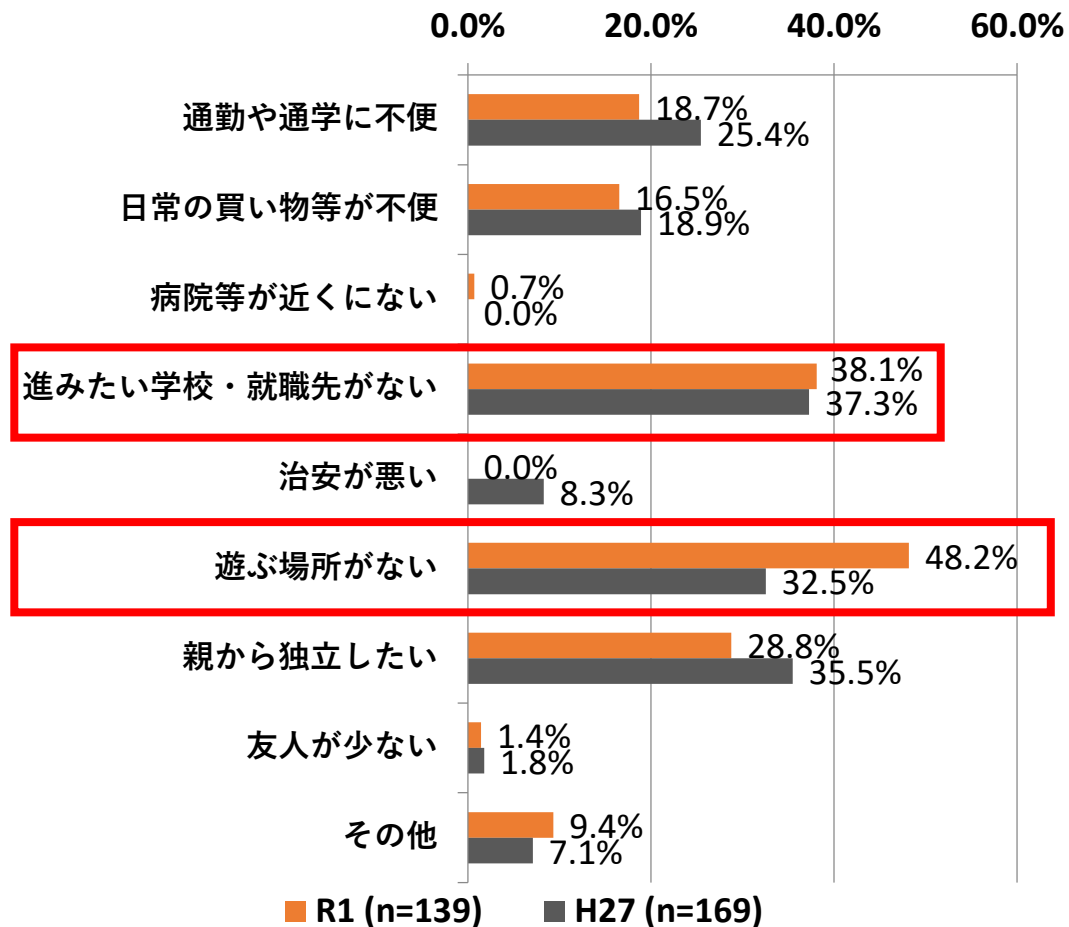


# 11 「住み続けたくない（戻りたくない）」と考える理由 （日立市内居住者）

- 「遊ぶ場所がない」の割合が48.2%と最も高く、前回比15.7ポイント上昇
- 次いで「進みたい学校・就職先がない」の割合が38.1%と高く、前回比で0.8ポイント上昇
- 「親から独立したい」、「通勤や通学に不便」、「日常の買い物等が不便」は前回と比較して低下

複数回答：2つまで

選択肢	R1 (n=139)		H27 (n=169)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 通勤や通学に不便	26	18.7%	43	25.4%
2 日常の買い物等が不便	23	16.5%	32	18.9%
3 病院等が近くにない	1	0.7%	0	0.0%
4 進みたい学校・就職先がない	53	38.1%	63	37.3%
5 治安が悪い	0	0.0%	14	8.3%
6 遊ぶ場所がない	67	48.2%	55	32.5%
7 親から独立したい	40	28.8%	60	35.5%
8 友人が少ない	2	1.4%	3	1.8%
9 その他	13	9.4%	12	7.1%
計	225	-	282	-



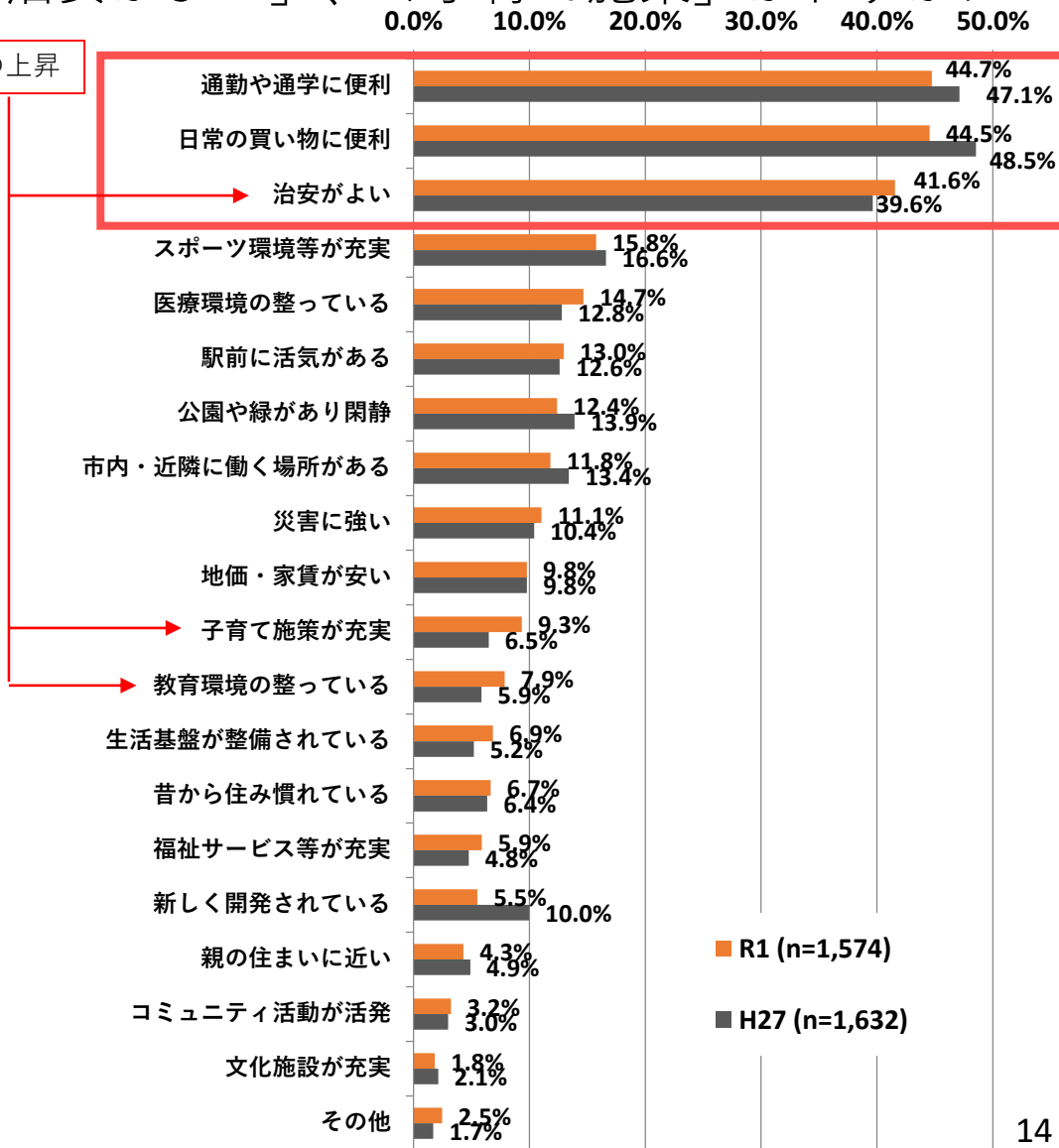
# 12 将来住んでみたいまち（全体）

- 「通勤や通学に便利」、「日常の買い物に便利」、「治安がよい」の割合が高い
- 前回比では、「教育環境」、「治安がよい」、「子育て施策」がわずかに上昇

子育て環境、日常の安全等に対する関心の上昇

複数回答：2つまで

選択肢	R1 (n=1,574)		H27(n=1,632)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 通勤や通学に便利	704	44.7%	769	47.1%
2 日常の買い物に便利	701	44.5%	792	48.5%
3 治安がよい	654	41.6%	647	39.6%
4 スポーツ・レジャー環境が充実	248	15.8%	271	16.6%
5 医療環境の整っている	231	14.7%	209	12.8%
6 駅前に活気がある	204	13.0%	206	12.6%
7 公園や緑があり閑静	195	12.4%	227	13.9%
8 市内・近隣に働く場所がある	186	11.8%	219	13.4%
9 災害に強い	174	11.1%	170	10.4%
10 地価・家賃が安い	154	9.8%	160	9.8%
11 子育て施策が充実	147	9.3%	106	6.5%
12 教育環境の整っている	124	7.9%	96	5.9%
13 生活基盤（道路や上下水道）が整備されている	108	6.9%	85	5.2%
14 昔から住み慣れている	105	6.7%	104	6.4%
15 保健・福祉サービスが充実	93	5.9%	78	4.8%
16 新しく開発されている	87	5.5%	163	10.0%
17 親の住まいに近い	68	4.3%	80	4.9%
18 コミュニティ活動が活発	51	3.2%	49	3.0%
19 文化施設（美術館・博物館等）が充実	29	1.8%	35	2.1%
20 その他	39	2.5%	28	1.7%
計	4,302	-	4,494	-



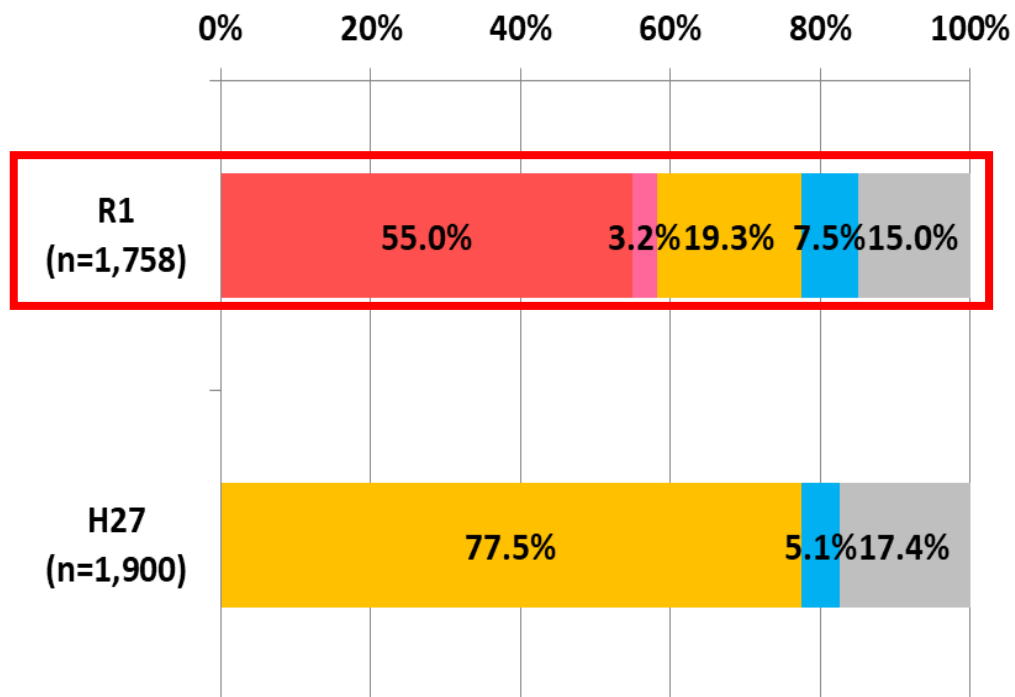
# 13 結婚に対する考え（全体）

- 「結婚したい」の割合が77.5%となり、前回と同じ割合
- 一方、「結婚するつもりはない」の割合が7.5%となり、前回比2.4ポイント増加

単一回答

選択肢		R1(n=1,758)		H27(n=1,900)	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	20代で結婚したい※	967	55.0%	-	-
2	30代で結婚したい※	56	3.2%	-	-
3	いずれ結婚したい	339	19.3%	1,473	77.5%
4	結婚するつもりはない	132	7.5%	96	5.1%
5	わからない	264	15.0%	331	17.4%
計		1,758	100	1,900	100

※H27は項目がないので、比較は参考



- 20代で結婚したい※
- 30代で結婚したい※
- いずれ結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

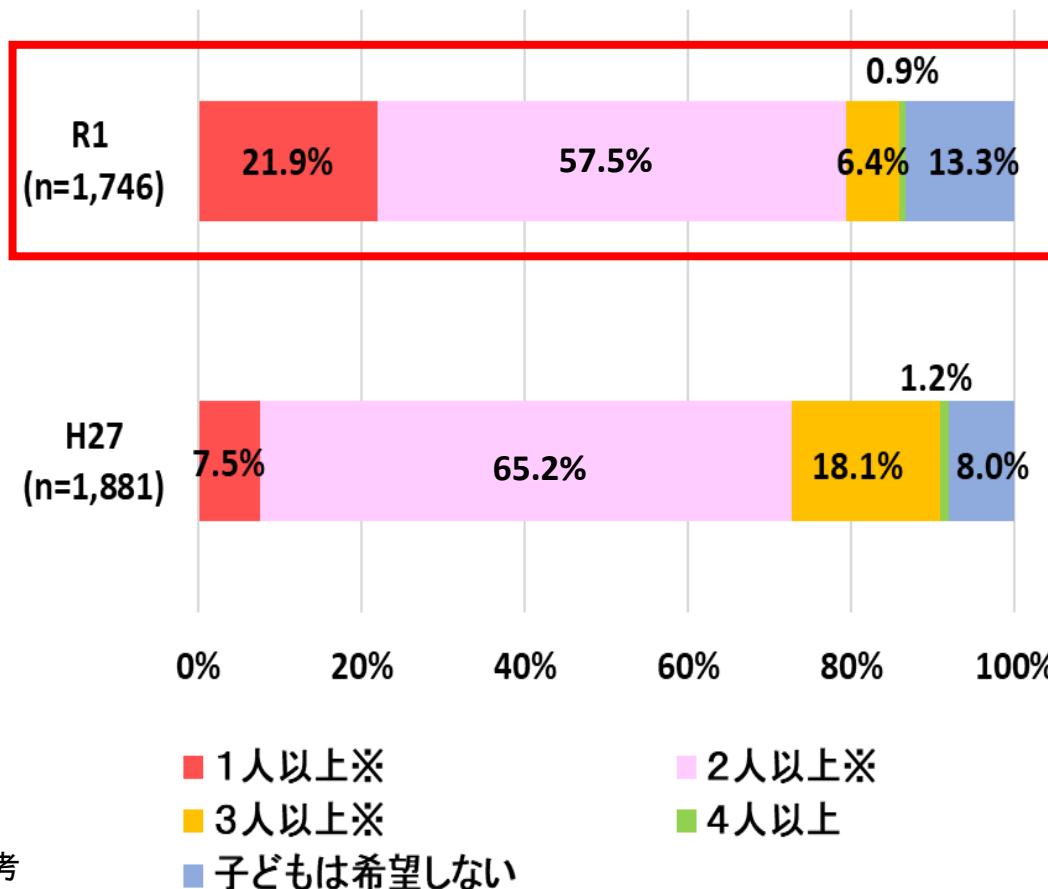


# 14 子どもの数の希望（全体）

- 「子どもを希望する」の割合が86.7%となり、前回比5.3ポイント低下
- 内訳では、「2人以上」の割合が57.5%と最も高いが、前回比7.7ポイント低下。「1人以上」の割合が21.9%となり、14.4ポイント上昇
- 「子どもを希望しない」の割合が13.3%となり、前回比5.3ポイント上昇

単一回答

選択肢	R1(n=1,746)		H27(n=1,881)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 1人以上※	383	21.9%	142	7.5%
2 2人以上※	1,003	57.5%	1,225	65.2%
3 3人以上※	112	6.4%	341	18.1%
4 4人以上	15	0.9%	22	1.2%
5 子どもは希望しない	233	13.3%	151	8.0%
無回答	25	-	26	-
n=	1,771	100	1,907	100



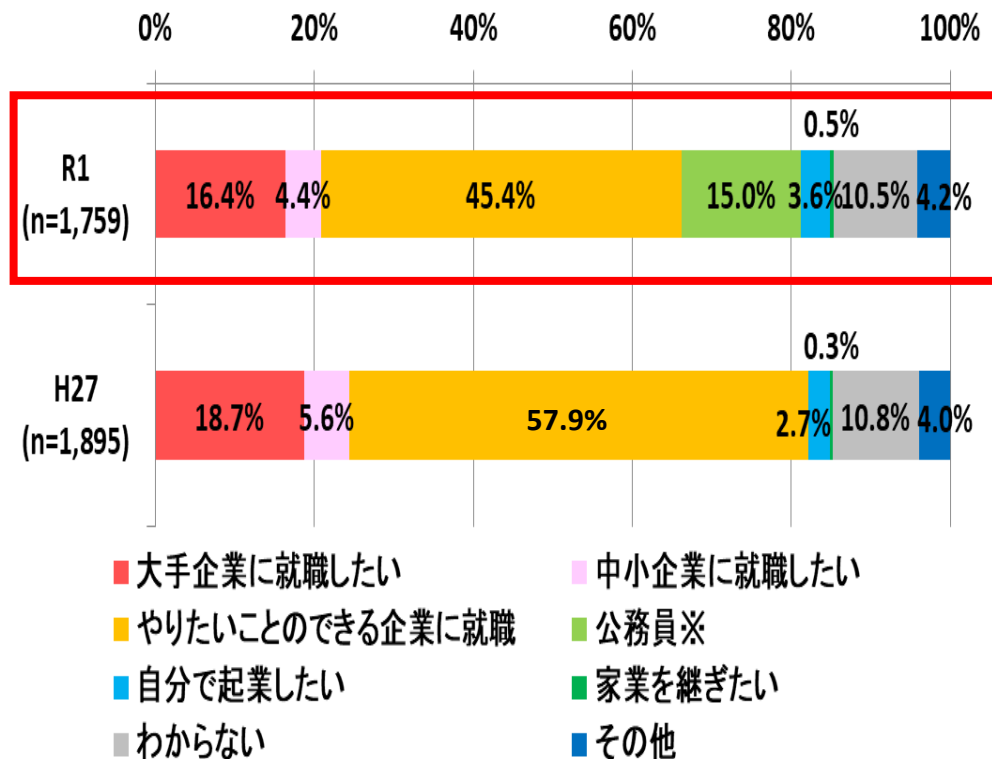
※前回は1人～3人に「以上」はついていないので、比較は参考

# 15 将来、仕事を選ぶ上で重視すること（全体）

- 「企業規模にかかわらず、やりたいことのできる企業」の割合が45.4%と最も高く、次いで「大手企業」、「公務員」が高い

単一回答

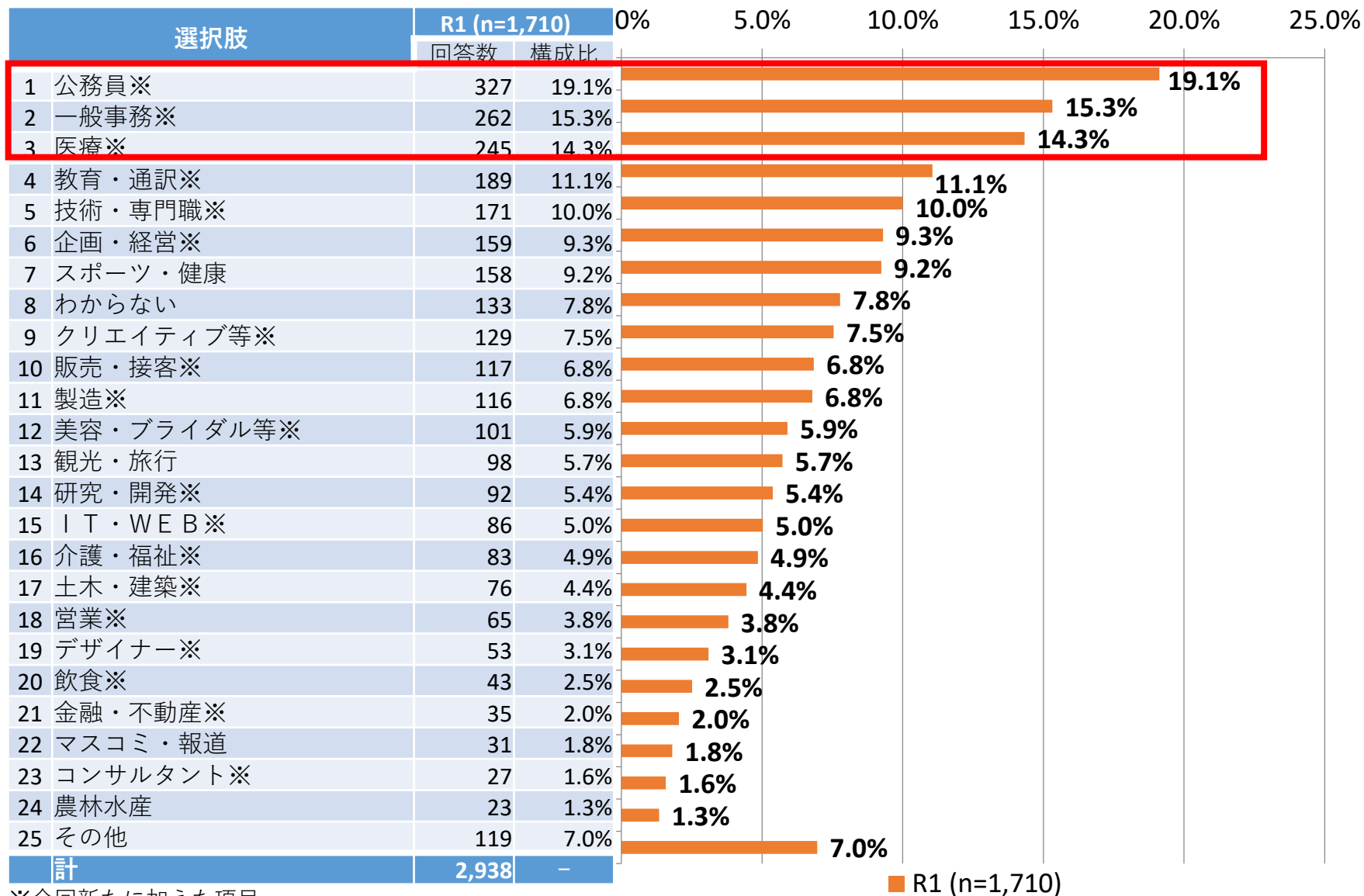
選択肢	R1(n=1,759)		H27(n=1,895)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 大手企業に就職したい	289	16.4%	355	18.7%
2 中小企業に就職したい	77	4.4%	107	5.6%
3 企業規模にかかわらず、やりたいことのできる企業に就職したい	799	45.4%	1,095	57.9%
4 公務員（役所・教員・警察・自衛官等）※	264	15.0%	-	-
5 自分で起業したい	63	3.6%	52	2.7%
6 家業を継ぎたい	9	0.5%	6	0.3%
7 わからない	184	10.5%	205	10.8%
8 その他	74	4.2%	75	4.0%
計	1,759	100	1,895	100



# 16 どのような分野の仕事に就きたいか（全体）

- 「公務員」の割合が19.1%と最も高く、次いで「一般事務」「医療」が高い

複数回答：3つまで



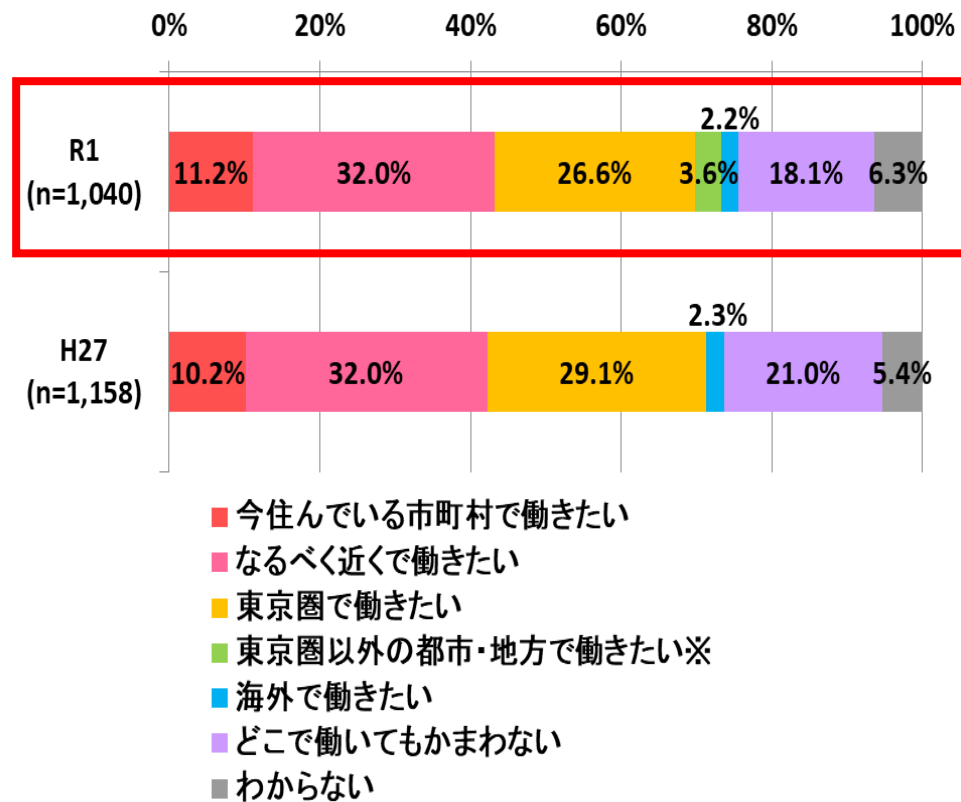
※今回新たに加えた項目

# 17 どこで働きたいか（日立市内居住者）

- 「今住んでいる市町村」、「なるべく近く」の割合が43.2%となり、前回とほぼ同じ割合
- 「東京圏」、「東京圏以外の都市（H27項目なし）」の割合は30.2%
- 「どこで働いてもかまわない」の割合が18.1%となり、前回比2.9ポイント低下

単一回答

選択肢	R1 (n=1,040)		H27 (n=1,158)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 今住んでいる市町村で働きたい	116	11.2%	118	10.2%
2 今住んでいる市町村でなくとも、なるべく近くで働きたい	333	32.0%	371	32.0%
3 東京圏（東京都，神奈川県，千葉県，埼玉県）で働きたい	277	26.6%	337	29.1%
4 東京圏以外の都市・地方で働きたい※	37	3.6%	-	-
5 海外で働きたい	23	2.2%	27	2.3%
6 どこで働いてもかまわない	188	18.1%	243	21.0%
7 わからない	66	6.3%	62	5.4%
無回答	33	-	19	-
計	1,073	100	1,177	100



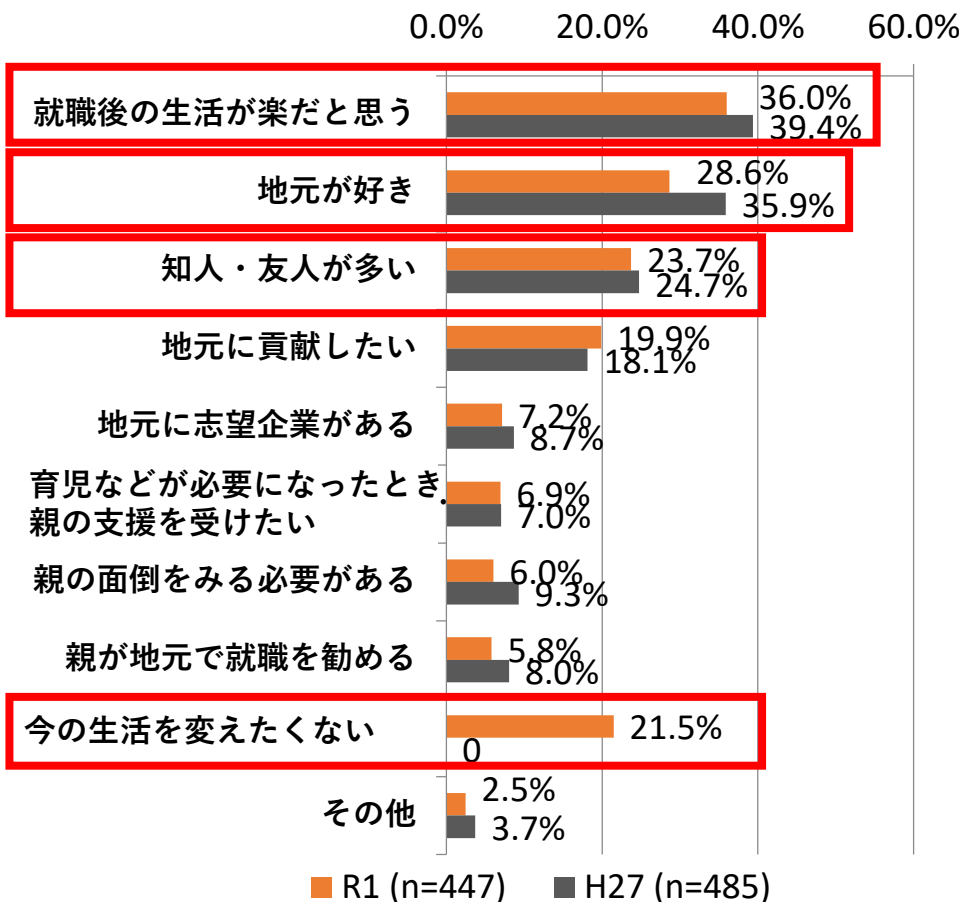
※H27は項目がないので、比較はあくまで参考

# 18 「日立市」又は「なるべく近く」で働きたい理由 (日立市内居住者)

- 「就職後の生活が楽だと思ふ」の割合が36.0%と最も高く、次いで「地元が好き」、「知人、友人がいる」、「地元貢献したい」が高く、前回と同様の傾向
- 今回新たに追加した「今の生活を変えたくない」の割合が21.5%

複数回答：3つまで

選択肢	R1 (n=447)		H27 (n=485)	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 就職後の生活が楽だと思ふ	161	36.0%	191	39.4%
2 地元が好き	128	28.6%	174	35.9%
3 知人・友人が多い	106	23.7%	120	24.7%
4 地元貢献したい	89	19.9%	88	18.1%
5 地元志望企業がある	32	7.2%	42	8.7%
6 育児などが必要になったとき親の支援を受けたい	31	6.9%	34	7.0%
7 親の面倒をみる必要がある	27	6.0%	45	9.3%
8 親が地元で就職を勧める	26	5.8%	39	8.0%
9 今の生活を変えたくない※	96	21.5%	-	-
10 その他	11	2.5%	18	3.7%
計	707	-	751	-

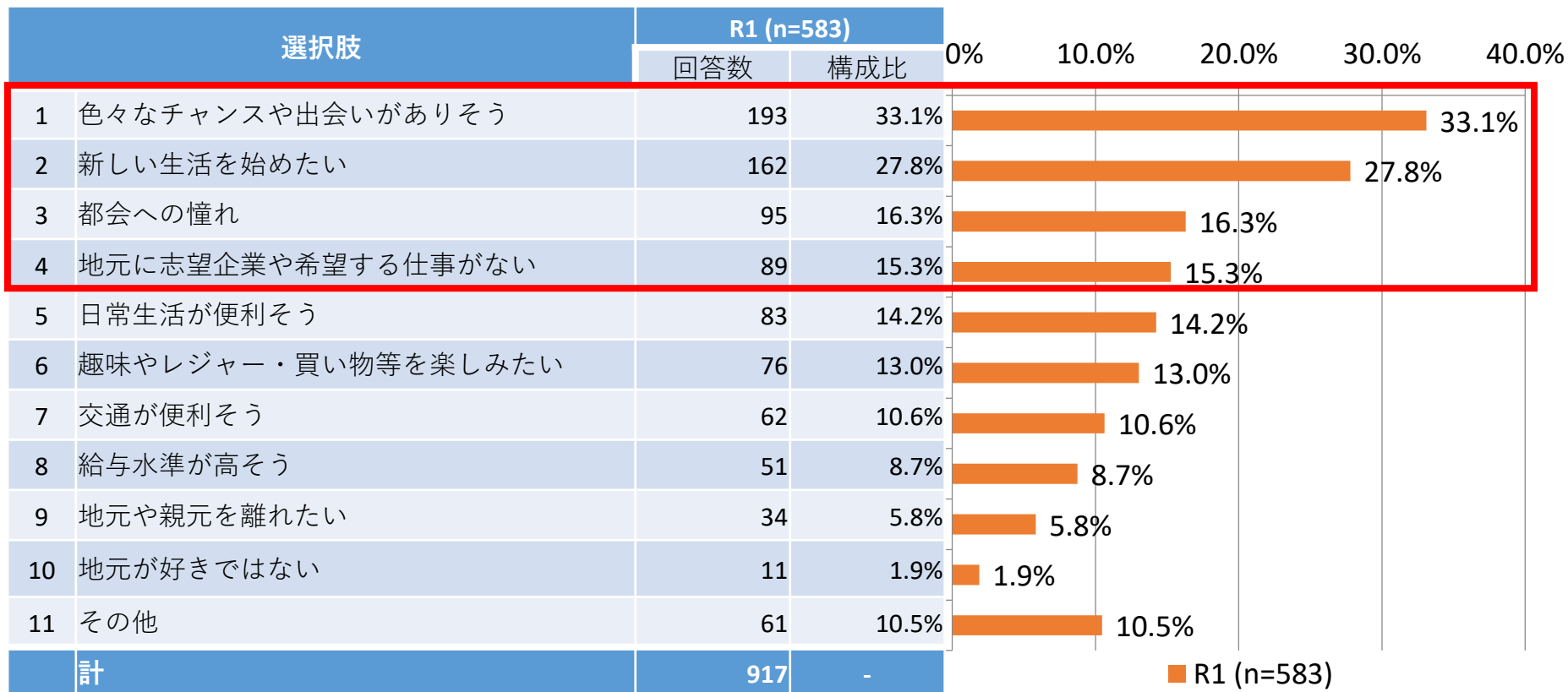


※H27は項目がないので、比較はあくまで参考

# 19 「日立市」又は「なるべく近く」以外で働きたい理由 (日立市内居住者)

- 「色々なチャンスや出会いがありそう」の割合が33.1%と最も高く、次いで「新しい生活を始めたい」、「都会への憧れ」、「地元で志望企業や希望する仕事がない」が高い

複数回答：2つまで H27は設問無し



# 関係団体等アンケート調査

# 1 回答者の割合

## (1) 回答者の内訳

単一回答

選択肢	R1 (n=878)	
	回答数	構成比
1 有識者会議委員	12	1.4%
2 有識者会議所属団体	246	28.0%
3 インターネットモニター	30	3.4%
4 市関係団体	376	42.8%
5 市職員（40歳未満）	214	24.4%
計	878	100

## (2) 年齢構成

単一回答

選択肢	R1 (n=874)	
	回答数	構成比
1 20歳未満	70	8.0%
2 20～29歳	199	22.8%
3 30～39歳	199	22.8%
4 40～49歳	51	5.8%
5 50～59歳	108	12.3%
6 60～69歳	111	12.7%
7 70～79歳	125	14.3%
8 80歳以上	11	1.3%
n=	874	100



## 2 これからの日立市に望む点（順位：10位以内）

- 「地域の活気」の割合が31.7%と最も高く、次いで「道路の利便性」の割合が高い
- 前回比では、「公共交通の利便性」、「道路の利便性」の割合が上昇

複数回答：3つまで

交通の利便性に対する関心の上昇

順位	順位比較 (前回順位)	項目	R1	H27	構成比の増減
			構成比	構成比	
1	→ (1位)	地域の活気	31.7%	37.5%	5.8ポイント減
2	→ (2位)	道路の利便性	27.0%	23.6%	3.4ポイント増
3	↑ (5位)	公共交通の利便性	24.1%	18.5%	5.6ポイント増
4	↓ (3位)	子育て支援の手厚さ	20.4%	22.2%	1.8ポイント減
5	↑ (7位)	医療機関の充実	18.0%	17.8%	0.2ポイント増
6	↓ (4位)	良好な自然環境の維持・保全	16.7%	20.7%	4.0ポイント減
7	↑ (10位)	娯楽の多様性	16.2%	15.0%	1.2ポイント増
8	→ (8位)	治安の良さ	14.6%	16.2%	1.6ポイント減
9	↓ (6位)	働く場所の多様性	14.0%	18.1%	4.1ポイント減
10	↑ (11位)	居住環境の良さ	12.1%	12.4%	0.3ポイント減

## 4 これからの日立に望む点（年齢別）

- 「地域の活気」、「道路の利便性」、「公共交通の利便性」の割合が全体的に高い
- 10～30代では、「娯楽の多様性」、「家具や電気製品、衣服、趣味の品などの買い物の利便性」の割合も高く、30代では「子育て支援の手厚さ」が最も高い

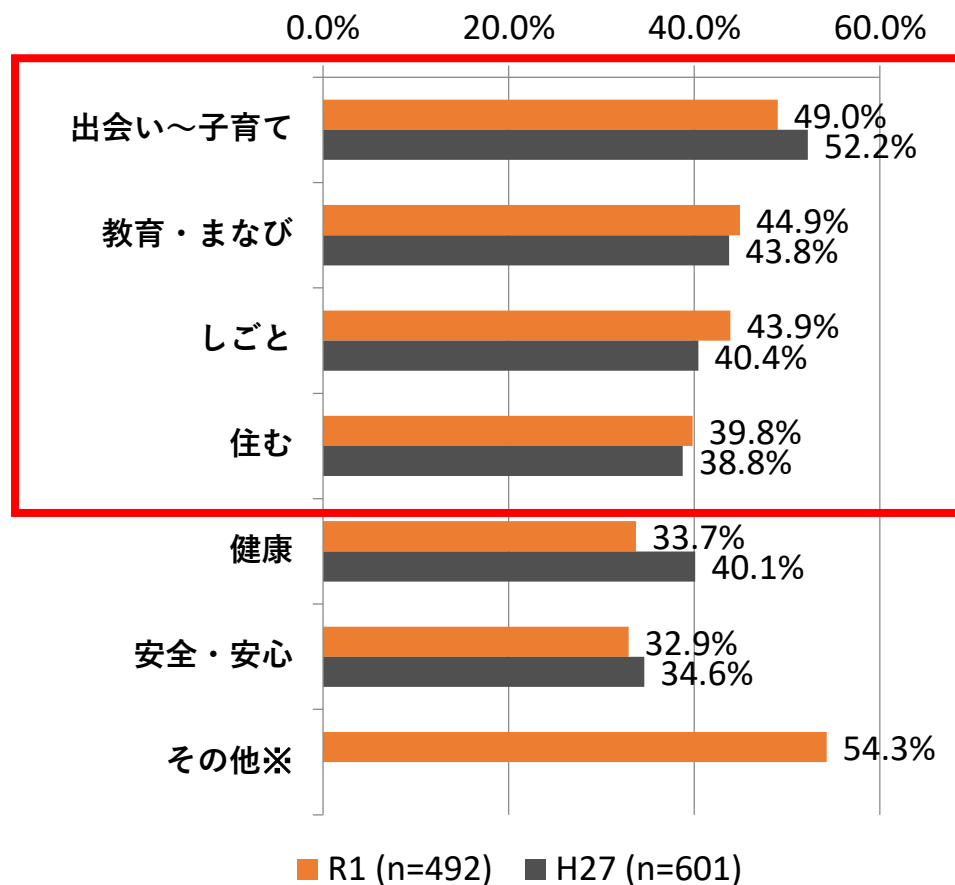
選択肢		R1 (n=837)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	年齢不明
1	良好な自然環境の維持・保全	16.7%	25.0%	9.1%	12.2%	14.3%	9.5%	20.2%	38.1%	30.0%	50.0%
2	居住環境の良さ	12.1%	6.3%	19.4%	14.3%	12.2%	9.5%	11.9%	3.3%	10.0%	0.0%
3	地域の活気	31.7%	20.3%	23.7%	22.2%	36.7%	41.9%	43.1%	45.5%	10.0%	25.0%
4	通勤・通学の利便性	11.0%	20.3%	18.3%	15.9%	10.2%	5.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5	治安の良さ	14.6%	18.8%	15.6%	15.3%	18.4%	8.6%	10.1%	16.5%	20.0%	25.0%
6	親や子どもなどの家への近さ	1.0%	0.0%	1.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	住宅の取得しやすさ	3.6%	0.0%	4.8%	6.3%	4.1%	3.8%	0.9%	1.7%	0.0%	0.0%
8	道路の利便性	27.0%	15.6%	36.6%	37.0%	24.5%	35.2%	16.5%	8.3%	10.0%	0.0%
9	公共交通の利便性	24.1%	31.3%	23.1%	17.5%	20.4%	22.9%	30.3%	27.3%	40.0%	50.0%
10	医療機関の充実	18.0%	3.1%	13.4%	15.3%	10.2%	33.3%	23.9%	21.5%	10.0%	50.0%
11	食料品や生活雑貨など日常の買い物の利便性	9.9%	10.9%	10.2%	8.5%	4.1%	7.6%	10.1%	14.0%	30.0%	0.0%
12	家具や電気製品、衣服、趣味の品などの買い物の利便性	11.4%	25.0%	10.8%	18.5%	10.2%	9.5%	6.4%	1.7%	0.0%	0.0%
13	子育て支援の手厚さ	20.4%	7.8%	23.7%	38.6%	22.4%	7.6%	14.7%	11.6%	0.0%	0.0%
14	学校教育の手厚さ	9.8%	10.9%	5.9%	11.6%	12.2%	15.2%	11.0%	5.8%	10.0%	0.0%
15	高齢者支援の手厚さ	9.3%	6.3%	2.2%	2.1%	12.2%	14.3%	12.8%	24.0%	20.0%	0.0%
16	地域のイメージの良さ	4.4%	10.9%	2.7%	2.6%	6.1%	5.7%	3.7%	5.0%	10.0%	0.0%
17	働く場所の多様性	14.0%	7.8%	7.0%	12.7%	18.4%	23.8%	14.7%	19.0%	10.0%	25.0%
18	起業しやすい環境	2.5%	1.6%	1.1%	1.6%	4.1%	4.8%	4.6%	2.5%	0.0%	0.0%
19	人材育成の手厚さ	2.5%	3.1%	0.5%	1.1%	6.1%	1.9%	2.8%	5.8%	10.0%	0.0%
20	結婚・出会い支援・応援	3.3%	4.7%	2.2%	1.1%	4.1%	1.0%	5.5%	6.6%	20.0%	0.0%
21	娯楽の多様性	16.2%	29.7%	34.9%	18.5%	14.3%	4.8%	2.8%	1.7%	0.0%	0.0%
22	文化施設の利便性	3.7%	1.6%	3.8%	4.2%	2.0%	3.8%	2.8%	5.8%	0.0%	0.0%
23	空き家の活用※	8.5%	9.4%	4.8%	2.1%	12.2%	10.5%	12.8%	14.9%	30.0%	0.0%
24	高齢者活躍の場の整備・提供※	4.7%	6.3%	1.1%	0.0%	4.1%	4.8%	12.8%	8.3%	0.0%	50.0%
25	国内外にむけた情報発信※	1.8%	1.6%	0.0%	0.0%	6.1%	2.9%	4.6%	2.5%	0.0%	0.0%
26	災害対策の充実※	5.9%	1.6%	4.3%	4.8%	6.1%	7.6%	10.1%	7.4%	0.0%	0.0%
計		837	64	186	189	49	105	109	121	10	4

## 5 日立市に望む人口減少対策・地域活性化の取組（全体）

- 「出会い～子育て」に関する意見・提案が49.3%と最も多く、次いで「教育・まなび」「しごと」「住む」に関する意見・提案が多い
- 「住む」ことに関する意見・提案が45.2%となり、前回比6.4ポイント上昇

### 自由意見

選択肢		R1 (n=493)		H27 (n=601)	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	出会い～子育て	241	49.0%	314	52.2%
2	教育・まなび	216	44.9%	263	43.8%
3	しごと	196	43.9%	243	40.4%
4	住む※住宅	221	39.8%	233	38.8%
5	健康	162	33.7%	241	40.1%
6	安全・安心	166	32.9%	208	34.6%
7	その他※	267	54.3%	-	-
計		1,469	-	1,502	-





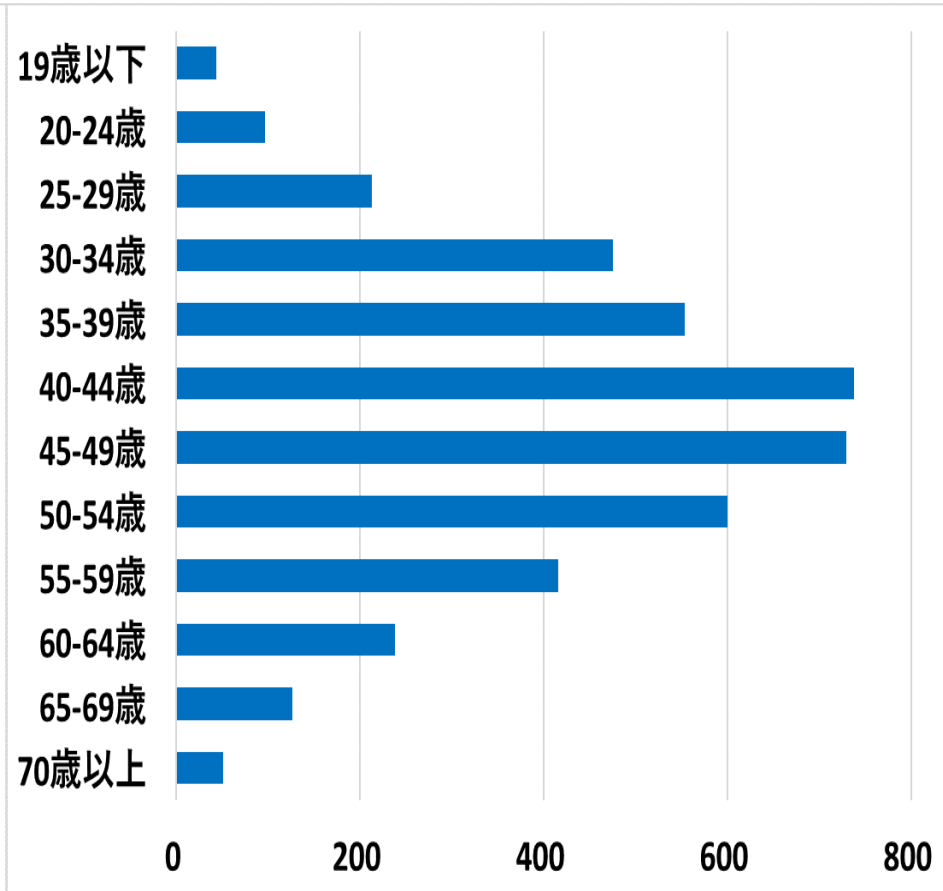
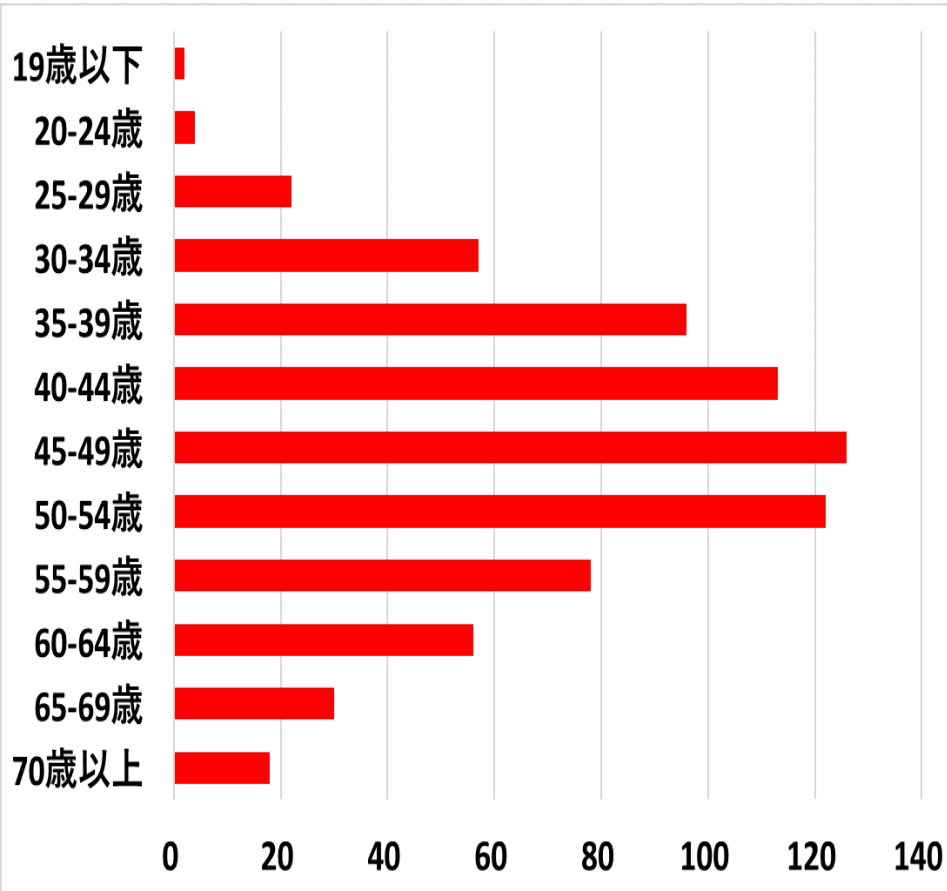
# 携帯電話等利用アンケート①

# 1 回答者の年齢構成比

アンケート対象者：県内9自治体に住む男女

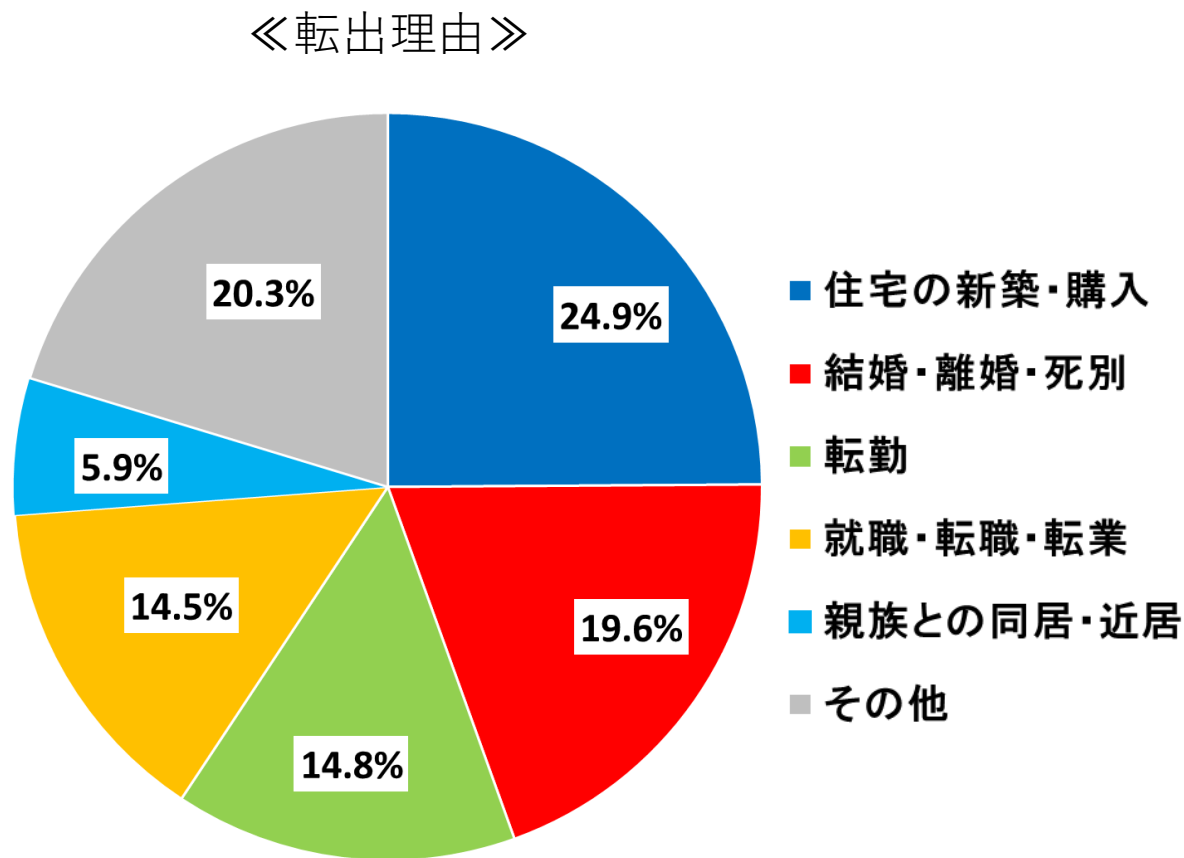
《居住歴あり n = 724》

《居住歴なし n = 4,278》



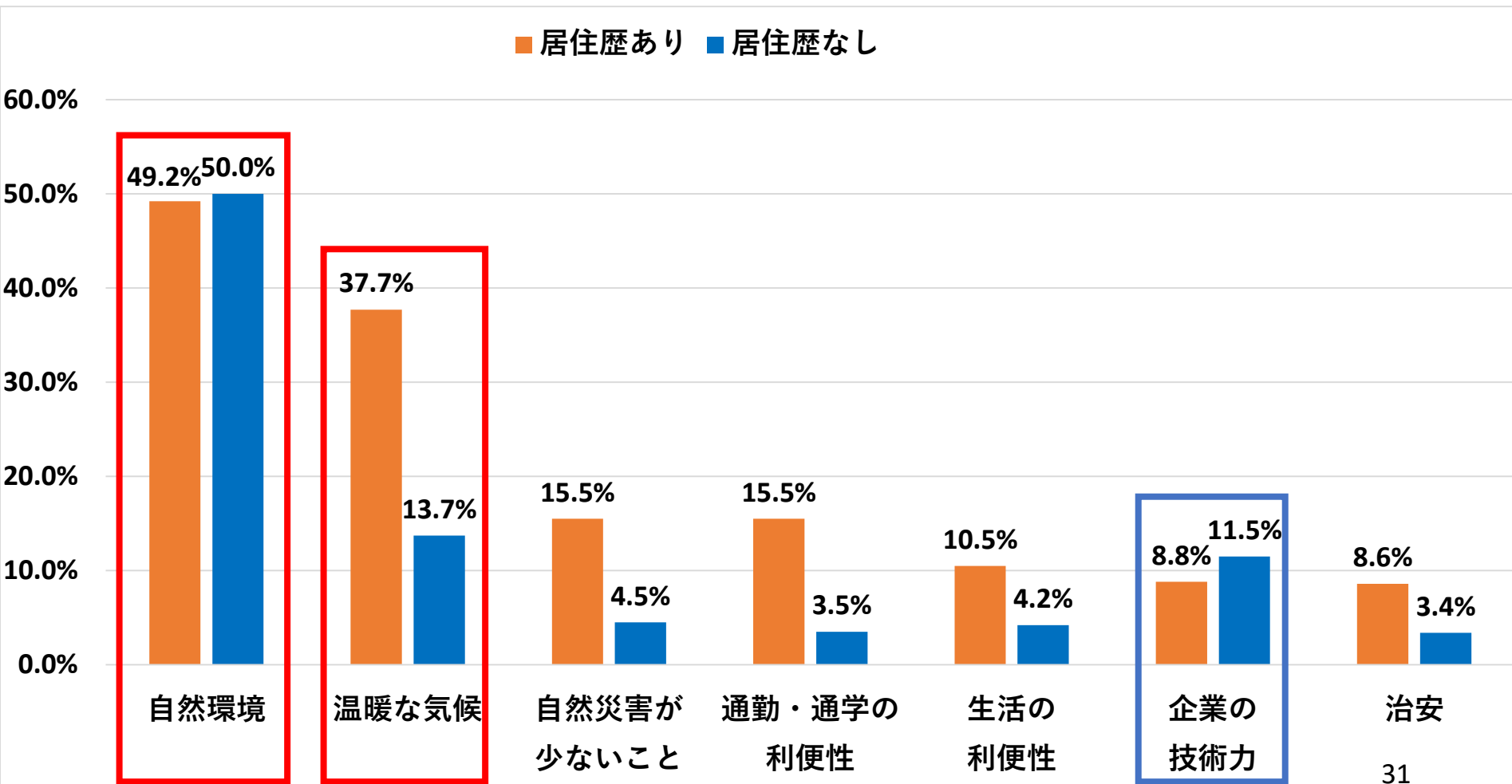
## 2 転出理由（居住歴あり）

- 「住宅の新築・購入」の割合が24.9%と最も高く、次いで「結婚・離婚・死別」が高い



### 3 日立市の魅力（全体）

- 『居住歴あり』、『居住歴なし』ともに、「自然環境」、「温暖な気候」の割合が高い
- 『居住歴なし』では、『居住歴あり』よりも「企業の技術力」の割合が高い

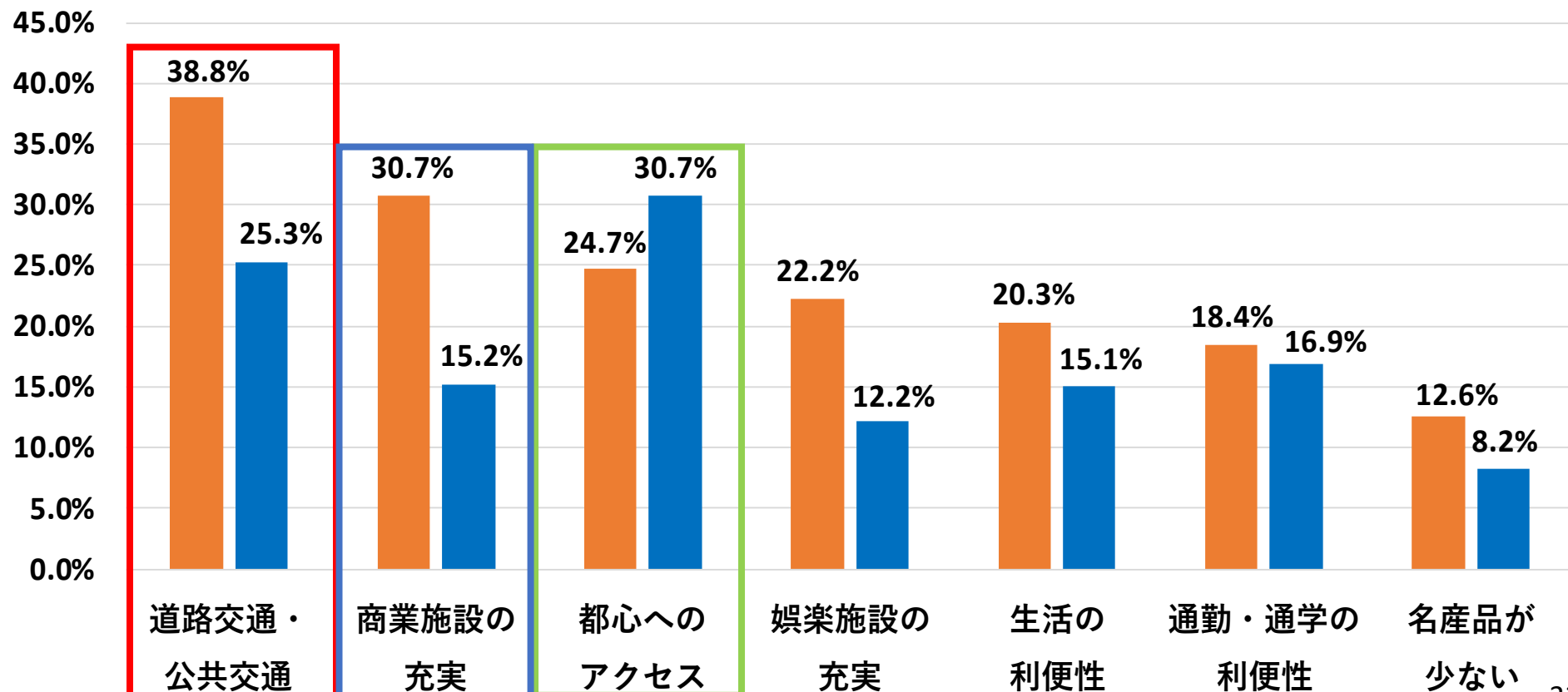




## 4 日上市が改善すべき点（全体）

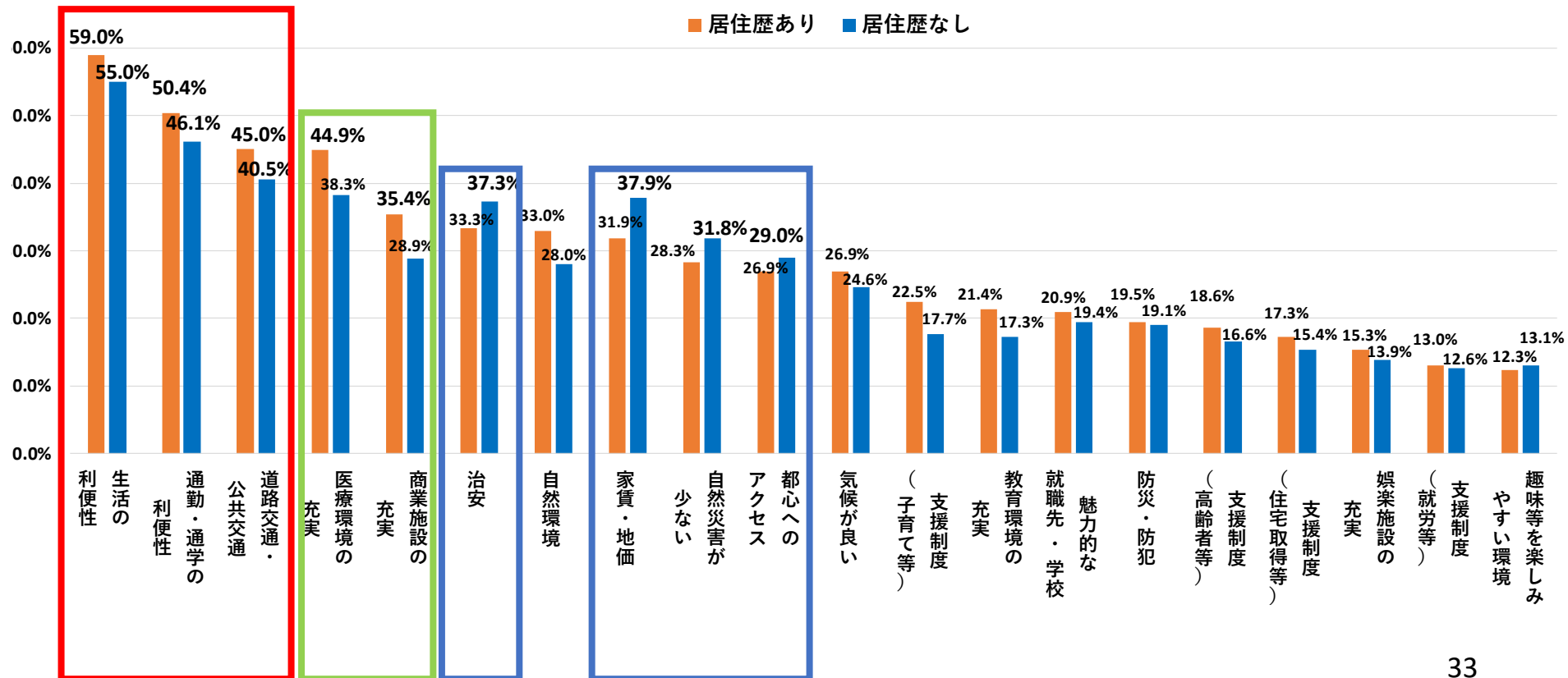
- 『居住歴あり』、『居住歴なし』ともに、「道路交通・公共交通」の割合が高い
- 『居住歴あり』は、「商業施設の充実」の割合も高い
- 『居住歴なし』は、「都心へのアクセス」の割合が最も高い

■ 居住歴あり ■ 居住歴なし



## 5 転居の際に重視する事項（全体）

- 『居住歴あり』、『居住歴なし』ともに、「生活の利便性」、「通勤・通学の利便性」、「道路交通・公共交通」の割合が高い
- 『居住歴あり』では、『居住歴なし』に比べて「医療環境の充実」、「商業施設の充実」の割合が高い
- 一方『居住歴なし』では、『居住歴あり』に比べて「治安」、「家賃・地価」、「自然災害が少ない」、「都心へのアクセス」の割合が高い

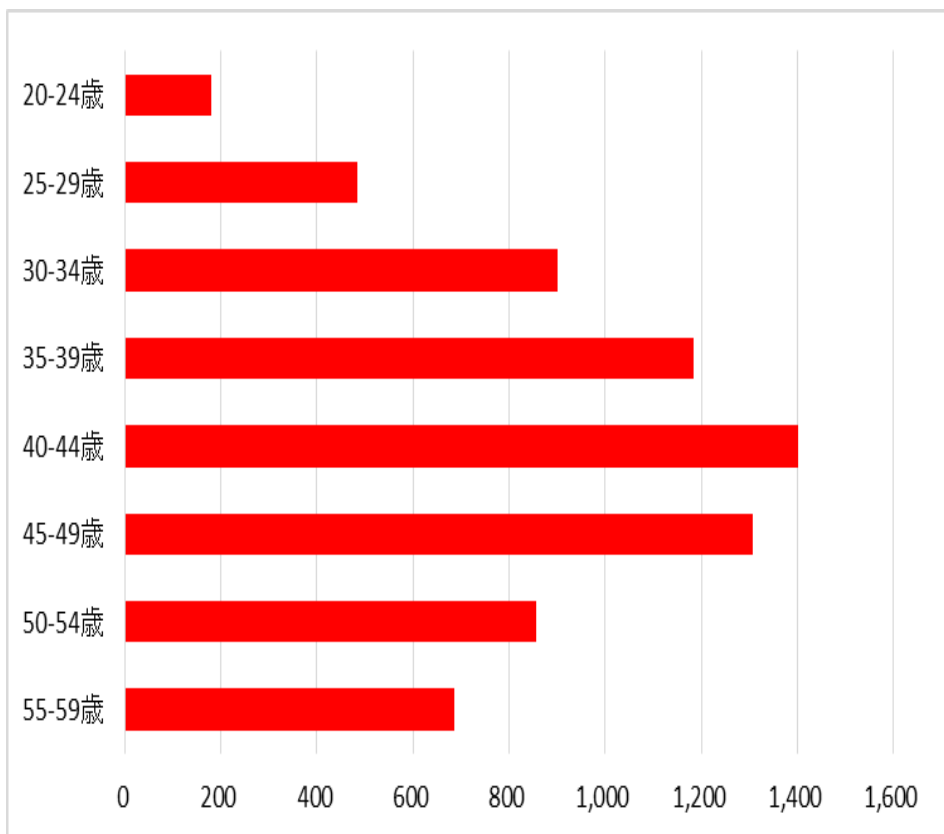


# 携帯電話等利用アンケート②

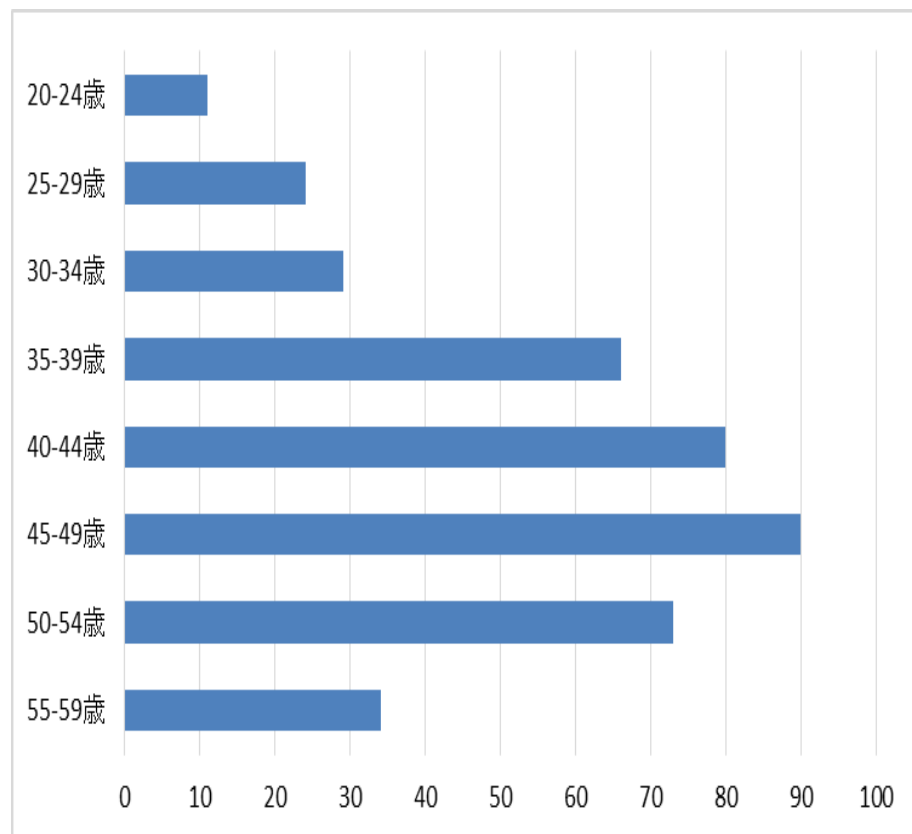
# 1 回答者の年齢構成比

アンケート対象者：10～50代の県内在住の女性

《全体 n = 7,000》



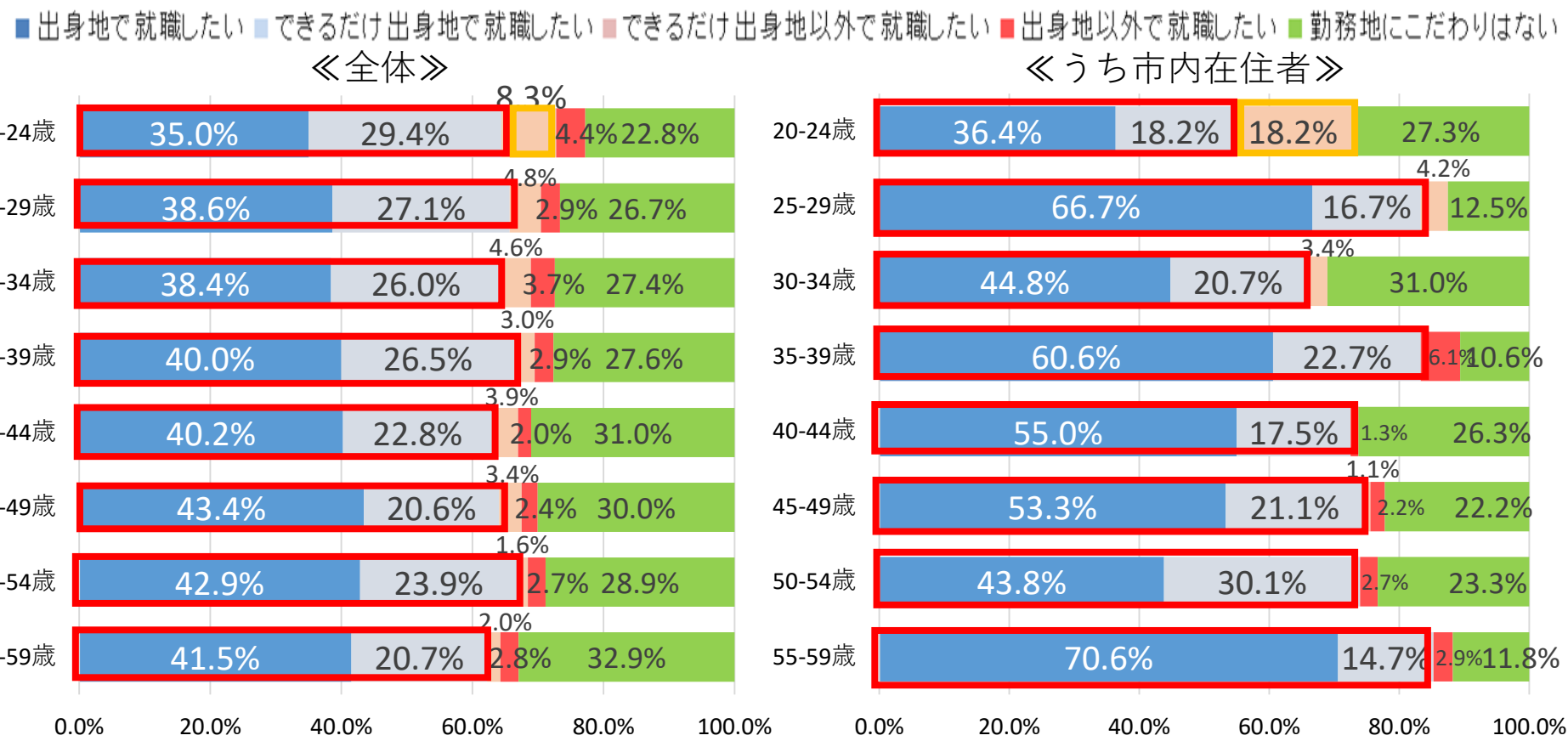
《うち市内在住者 n = 407》



※10代からの回答は無し

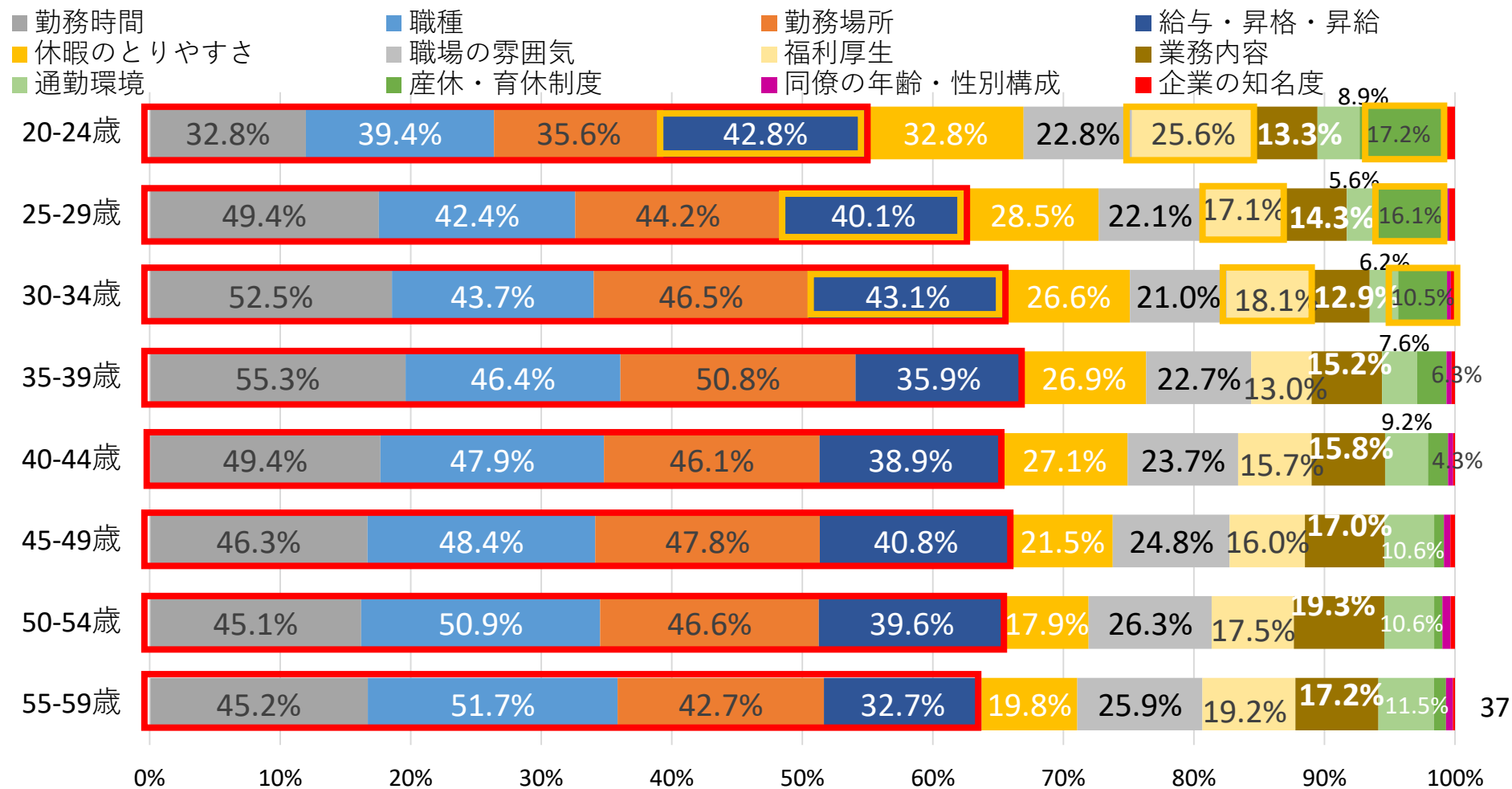
## 2 出身地での就職意向（全体）

- 『市内在住者』は『全体』に比べ、20-24歳を除く全世代で「出身地で就職したい」、「できれば出身地で就職したい」の割合が高い
- 『全体』、『市内在住者』ともに、20歳-24歳では「できるだけ出身地以外で就職したい」の割合が高い



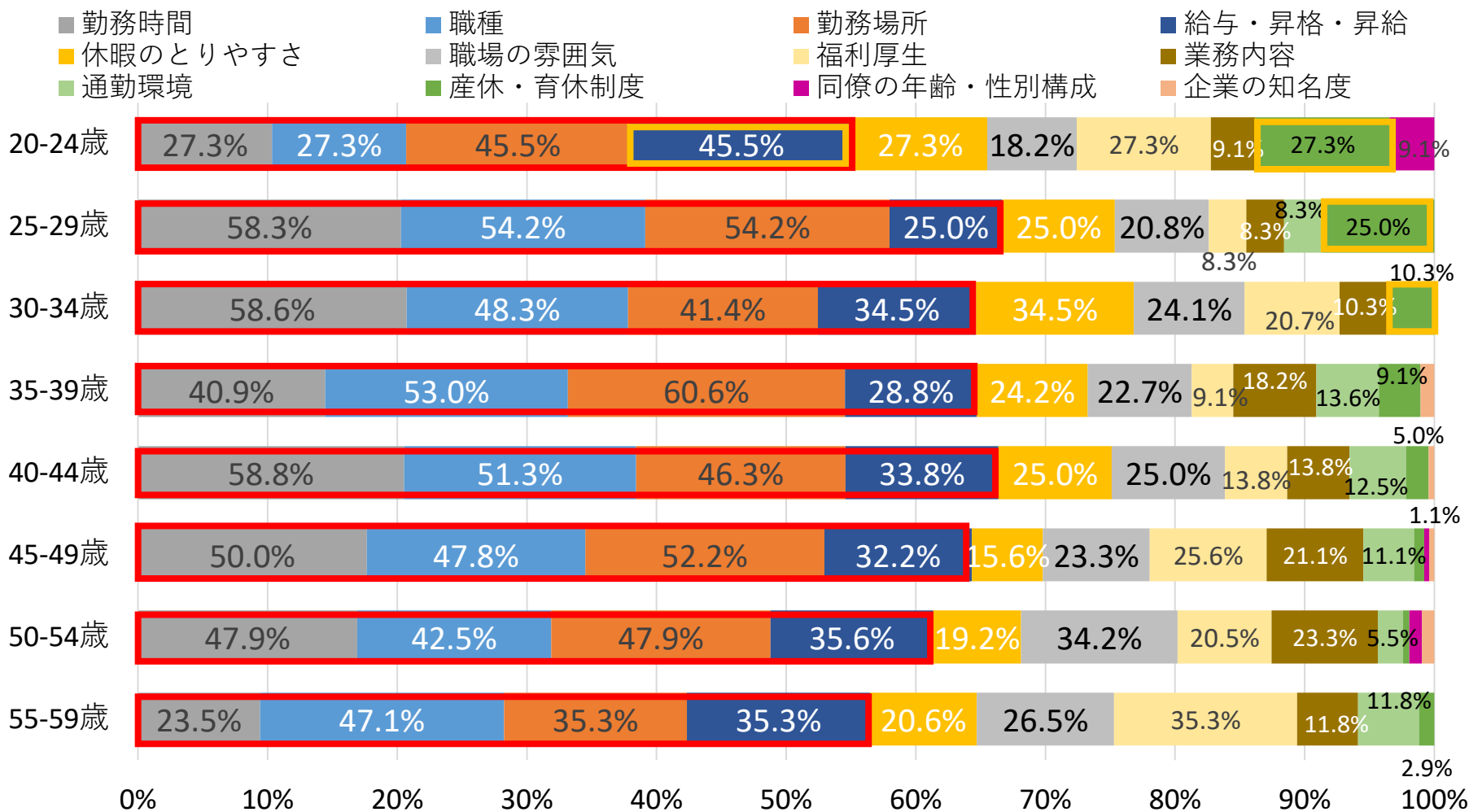
### 3 求職時に重視する事項（全体）

- 全ての世代において「勤務時間」、「職種」、「勤務場所」、「給与・昇格・昇給」の割合が高い
- 20-34歳は「給与・昇格・昇給」、「産休・育休制度」、20-24歳は「福利厚生」の割合が高い



## 4 求職時に重視する事項（市内在住者）

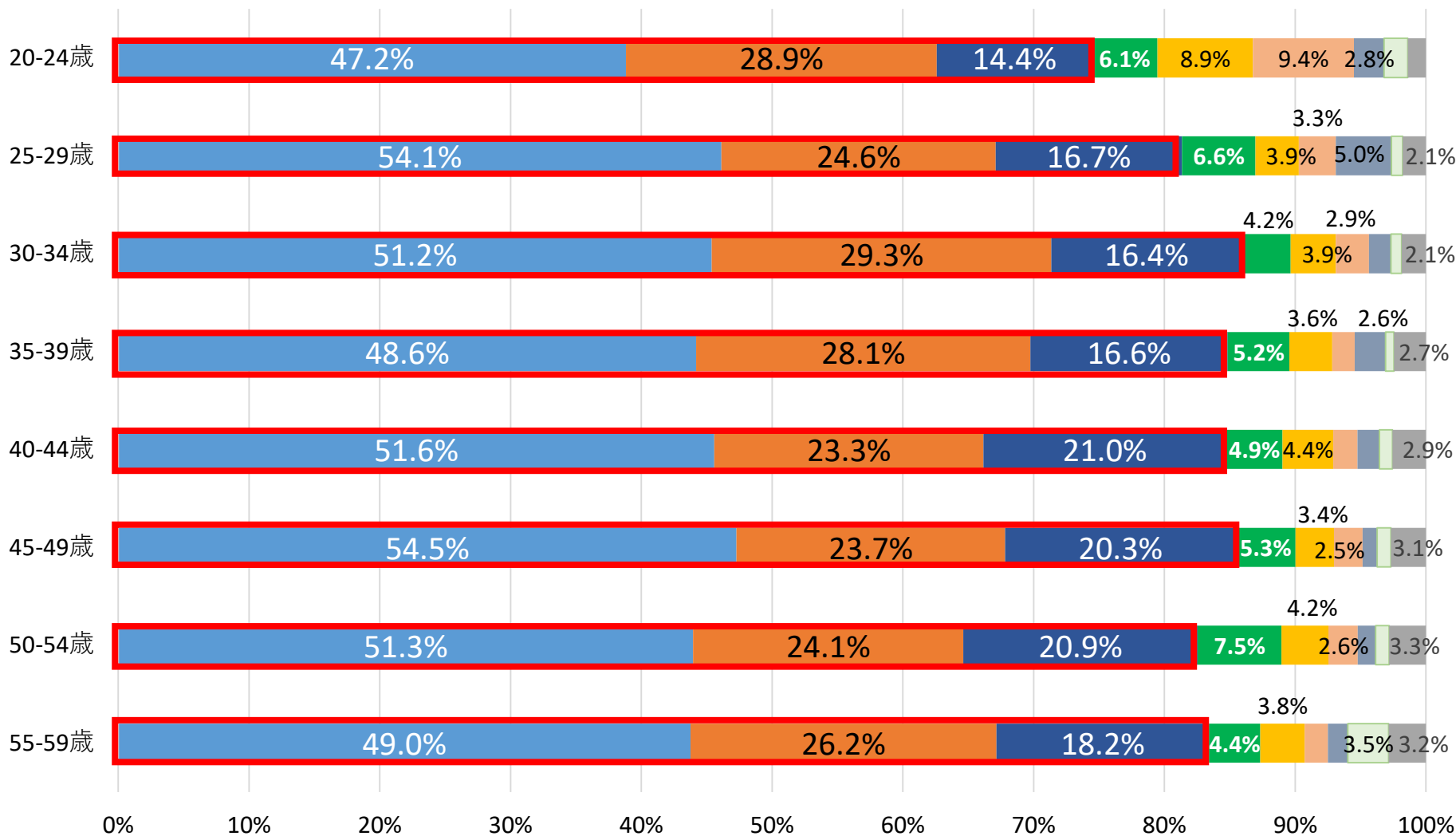
- 全ての世代において「勤務時間」、「職種」、「勤務場所」、「給与・昇格・昇給」の割合が高い
- 20-24歳は「給与・昇格・昇給」の割合が高く、年齢が若くなるにつれ「産休・育休制度」の割合が高くなる



## 5 働きたい職種（全体）

- 全ての世代において「一般事務」がほぼ半数を占めており、次いで「販売・接客」、「技術・専門職」の割合が高い

■ 一般事務 ■ 販売・接客 ■ 技術・専門職 ■ 研究・開発 ■ 企画・経営 ■ 営業 ■ デザイナー ■ コンサルタント ■ その他

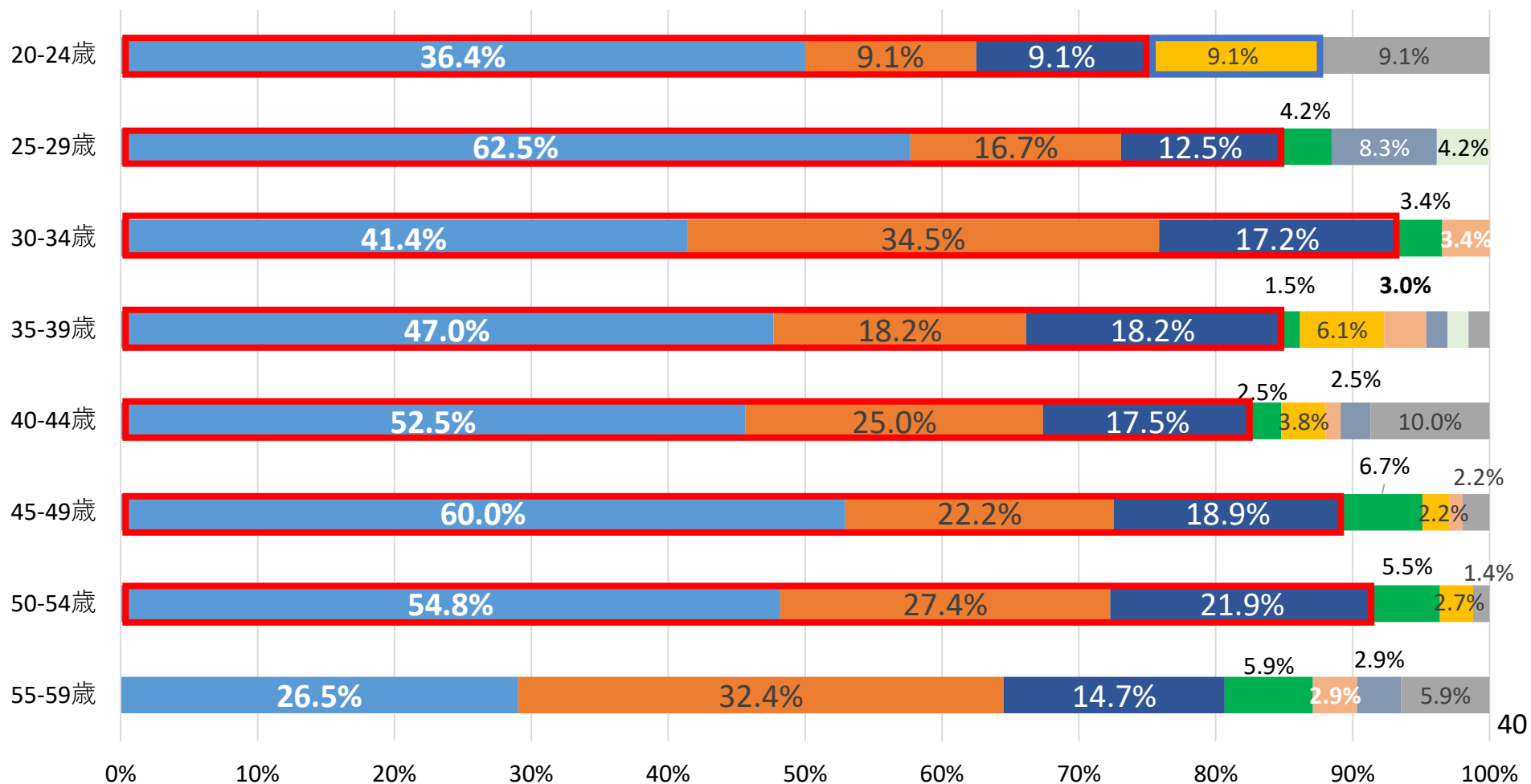




## 6 働きたい職種（市内在住者）

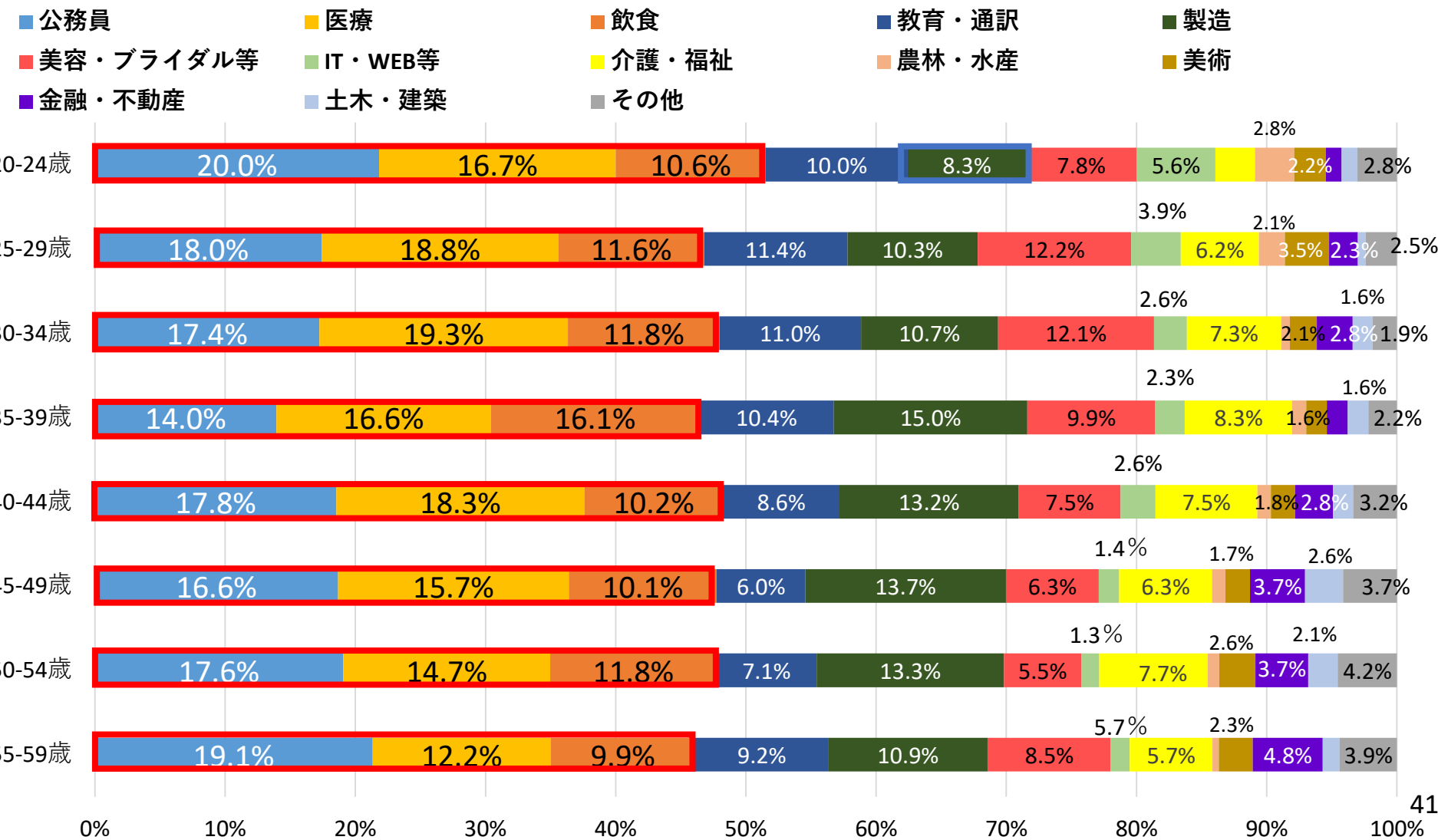
- 55-59歳を除く全世代で「一般事務」の割合が高く、次いで「販売・接客」、「技術・専門職」を希望する割合が高い
- 20-24歳では、他世代に比べて「企画・経営」の割合が高い

■ 一般事務 ■ 販売・接客 ■ 技術・専門職 ■ 研究・開発 ■ 企画・経営 ■ 営業 ■ デザイナー ■ コンサルタント ■ その他



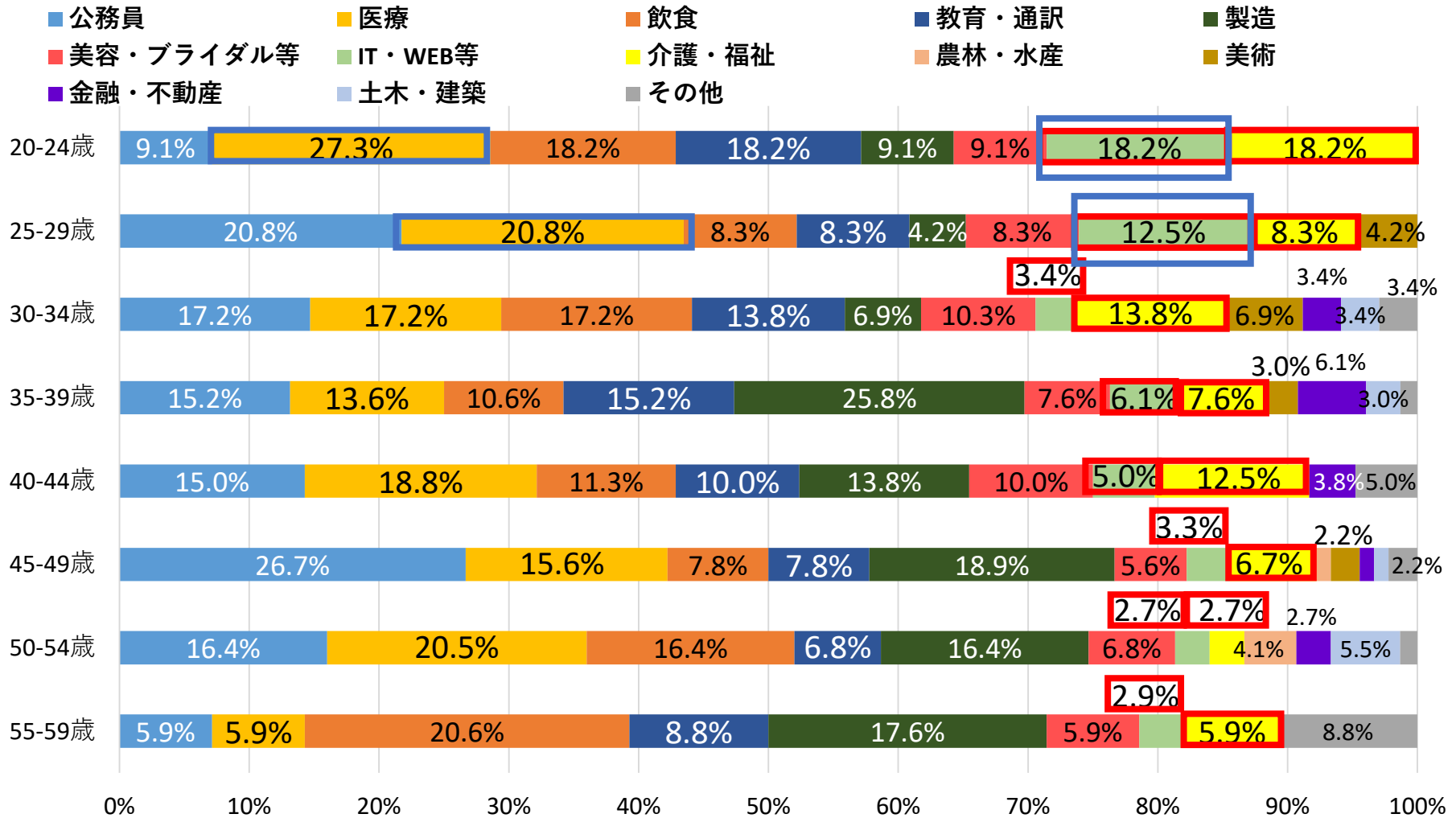
# 7 働きたい業種（全体）

- 全ての世代において「公務員」、「医療」、「飲食」の割合が高い
- 20-24歳では、他世代に比べて「製造」の割合が低い



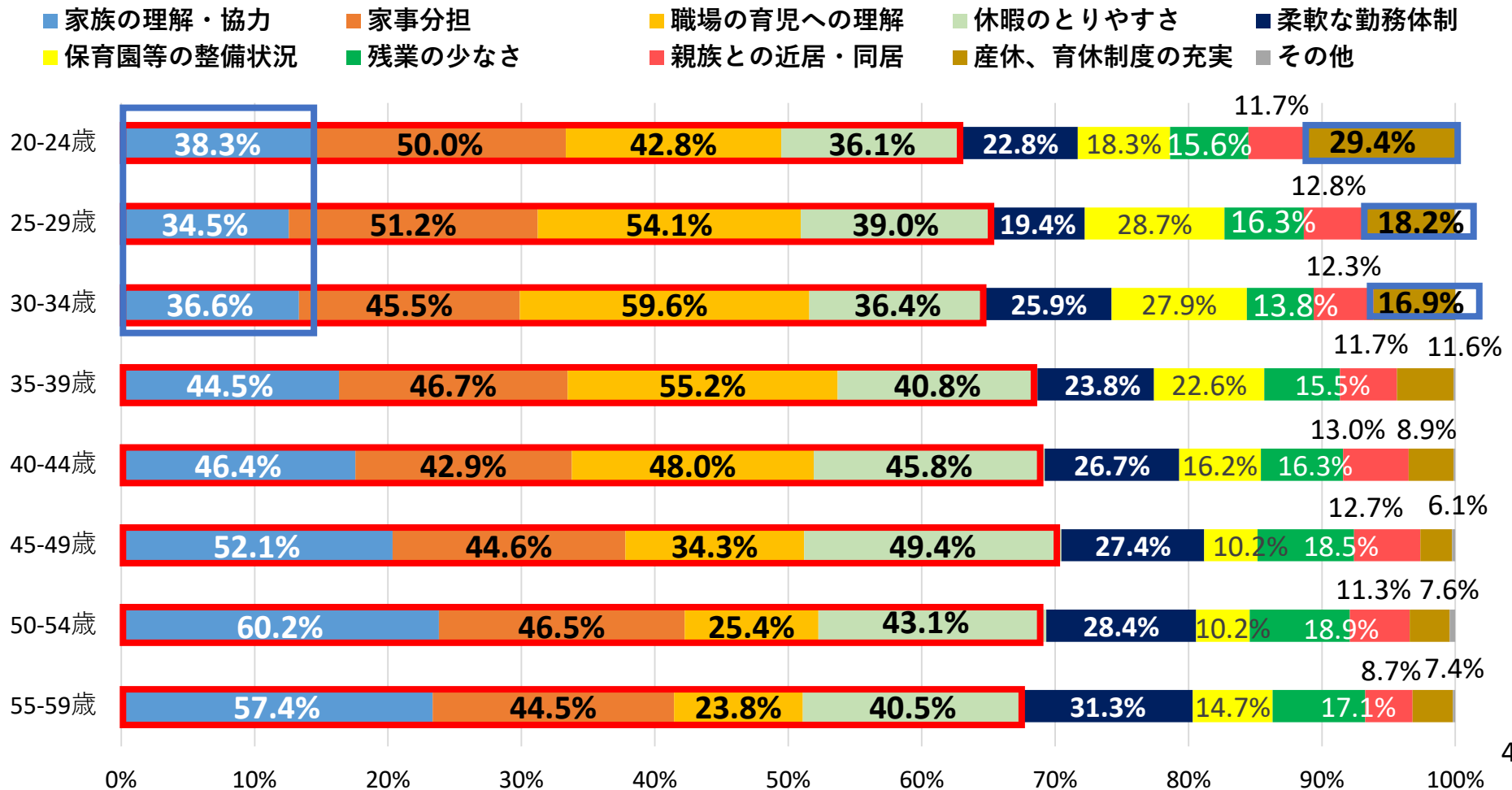
## 8 働きたい業種（市内在住者）

- 『市内在住者』では、『全体』に比べて「IT・WEB」、「介護・福祉」の割合が高い
- 20代では、他世代に比べて「医療」、「IT・WEB」の割合が高い



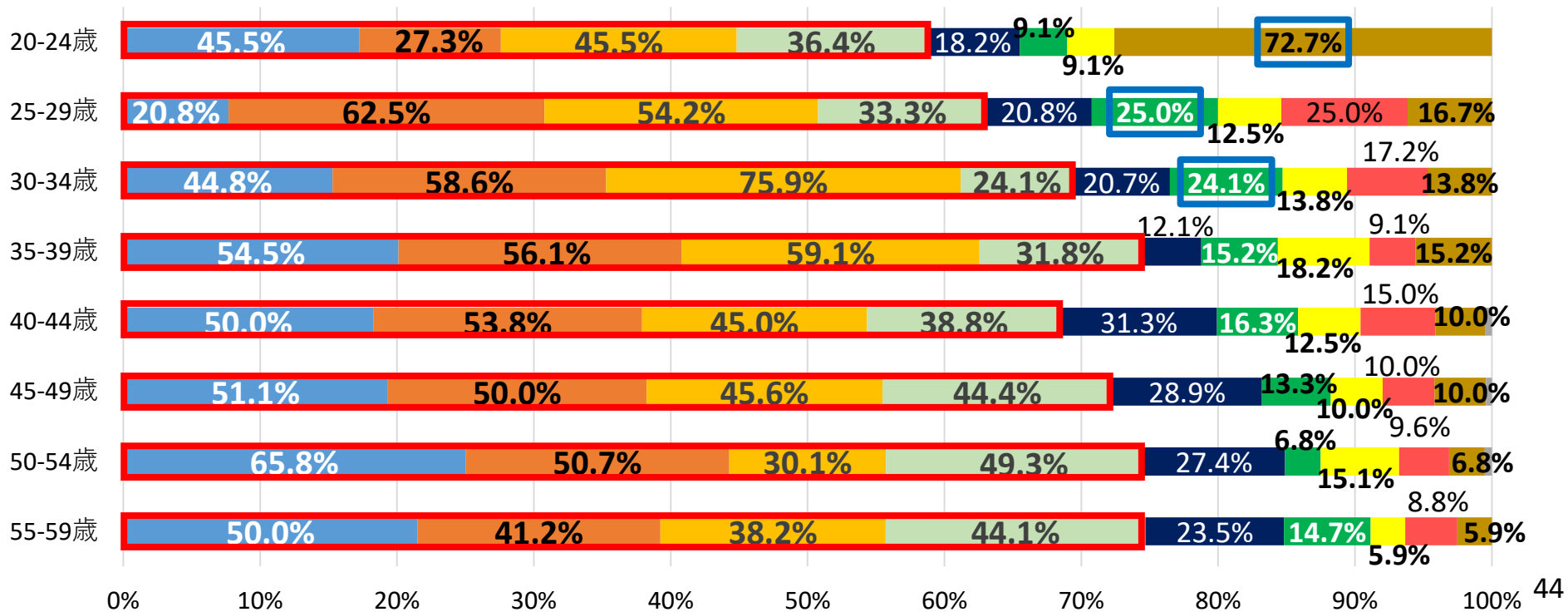
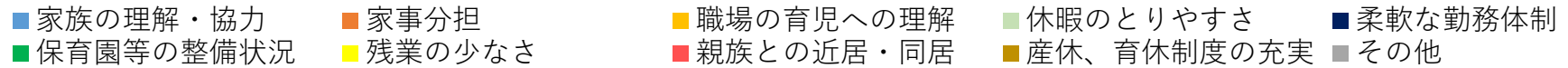
# 9 家庭と仕事を両立する上で重要だと考えること（全体）

- 全ての世代で「家族の理解・協力」、「家事分担」、「職場の育児への理解」、「休暇のとりやすさ」の割合が高い
- 20-34歳では、他世代に比べて「家族の理解・協力」を重視する割合が低く、「産休、育休制度の充実」割合が高い



# 10 家庭と仕事を両立する上で重要だと考えること (市内在住者)

- 全ての世代で「家族の理解・協力」、「家事分担」、「職場の育児への理解」、「休暇のとりやすさ」の割合が高い
- 20-24歳では、他世代に比べて「産休・育休制度の充実」の割合が高い
- 25-34歳では、他世代に比べて「保育園等の整備状況」の割合が高い

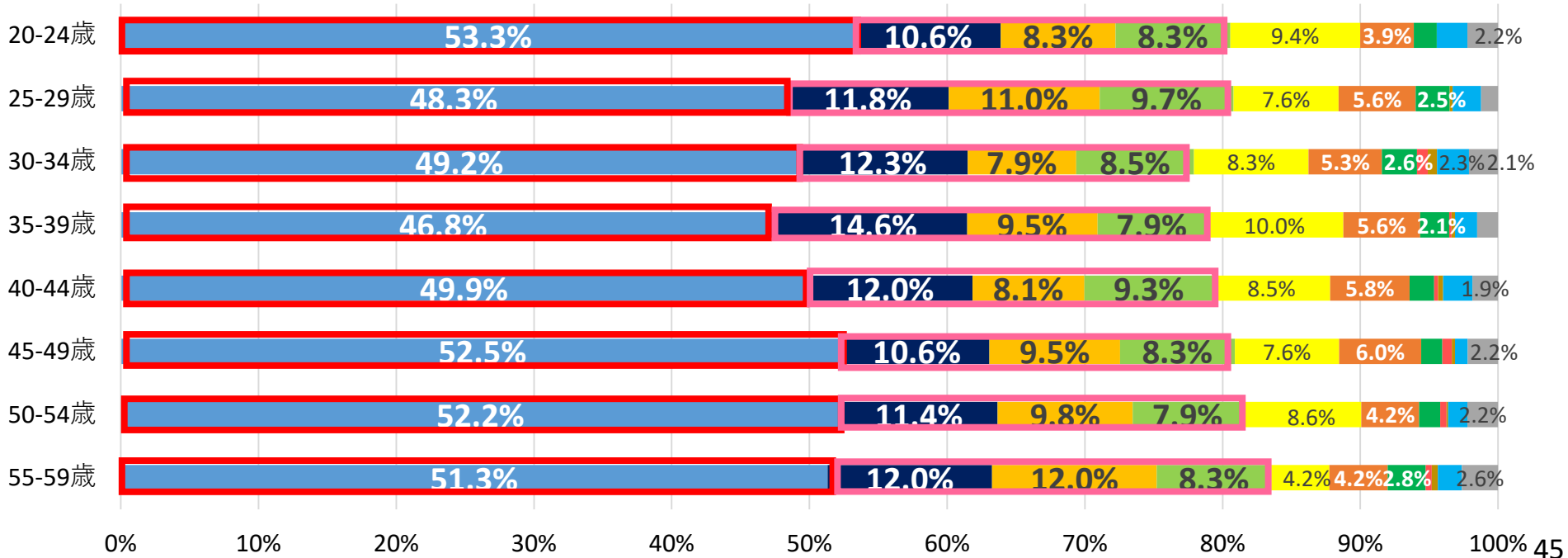


# 11 ライフステージ毎の希望する雇用形態（全体）

- 全ての世代において、「ライフステージにかかわらず、正規雇用がよい」がほぼ半数
- 全ての世代を通して、妊娠・出産を機に非正規雇用や専業主婦への雇用形態の変更を希望するケースが3割（グラフ中のピンクの色枠の合計）

- ライフステージにかかわらず、正規雇用がよい
- (1)正規雇用、(2)以降は専業主婦
- (1)正規雇用、(2)非正規雇用、(3)非正規雇用
- (1)非正規雇用、(2)以降は専業主婦
- (1)非正規雇用、(2)正規雇用、(3)非正規雇用
- その他
- (1)正規雇用、(2)非正規雇用、(3)正規雇用
- (1)正規雇用、(2)正規雇用、(3)非正規雇用
- ライフステージにかかわらず、非正規雇用がよい
- (1)非正規雇用、(2)正規雇用、(3)正規雇用
- (1)非正規雇用、(2)非正規雇用、(3)正規雇用

※ライフステージを「(1)結婚まで」「(2)妊娠・出産まで」「(3)子育てが一段落したあと」として調査

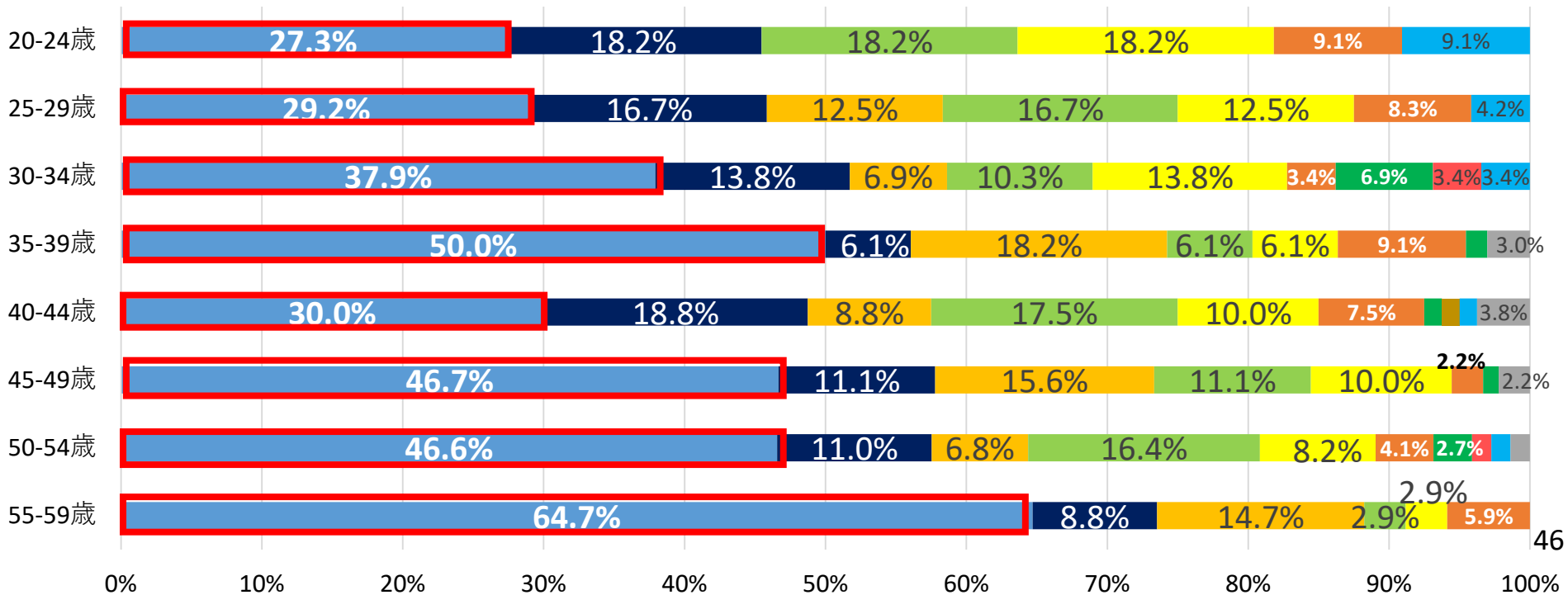


## 12 ライフステージ毎の希望する雇用形態（市内在住者）

- 『市内在住者』においても、『全体』と同様に「ライフステージにかかわらず、正規雇用がよい」の割合が最も高いが、その他の雇用形態の希望も高く、ニーズが多様化

- ライフステージにかかわらず、正規雇用がよい
- (1)正規雇用、(2)以降は専業主婦
- (1)正規雇用、(2)非正規雇用、(3)非正規雇用
- (1)非正規雇用、(2)以降は専業主婦
- (1)非正規雇用、(2)正規雇用、(3)非正規雇用
- その他

- (1)正規雇用、(2)非正規雇用、(3)正規雇用
- (1)正規雇用、(2)正規雇用、(3)非正規雇用
- ライフステージにかかわらず、非正規雇用がよい
- (1)非正規雇用、(2)正規雇用、(3)正規雇用
- (1)非正規雇用、(2)非正規雇用、(3)正規雇用







# 大学生ヒアリング

# ● 主な意見

- ①女性は、ライフイベントと両立しやすい仕事・職場を重視しているが、市内には、女性が長く働ける職場の選択肢が少ないと感じる
- ②就職に当たっては、やりたい仕事(大学で学んだことが生かせる、興味がある等)を重視し、勤務地にはあまりこだわらない
- ③シティプロモーションでは、市のよいところをPRするのではなく、市民一人ひとりが広告塔として日立市をPRするような仕組みが重要と考える
- ④SNSを利用した情報発信では、写真等の視覚的な情報の掲載や検索しやすいキーワードを設定する等、若者に伝わりやすい工夫が必要と感じる
- ⑤日立市の魅力の一つである「海」を十分に活用しきれていないと感じる  
海が見えるカフェや海の景観を活かした施設があれば人が集まると考える
- ⑥日立市は日常の買い物や生活に不便はない。しかし、娯楽施設やショッピングモール等がなく、休日を過ごす場所の候補にはならない

# ● 主な意見

- ⑦市内は渋滞が多く、坂道が多い点が不便だと感じる
- ⑧市内での移動手段として、シェアサイクルやカーシェアを整備することで、学生や観光客等の行動範囲が広がると考える
- ⑨公共交通では、電車やバスの本数が少なく、最終便の時間が早い点が不便だと感じる。また、市内バスでもSuica等が使えるれば、利用しやすいと考える
- ⑩自転車や歩行者が安全に通行できるように、路肩の舗装の修繕や自転車専用レーンの整備等が必要と考える
- ⑪足りないものを一つずつ、つぶすことで転出抑制や移住・定住につながると考える



# 産業界関係者と市長との地域創生に関する懇談会

# ● 主な意見

- ①高い技術力を市場（外部）にアピールできていない企業も多い
- ②企業の経営意識や戦略によって、必要な支援は異なるため、必要に応じた支援を行うことが重要
- ③有望な会社を重点的に支援し、成功事例を作っていくことで地域が盛り上がっていくと考える
- ④現在の経営者から次の世代への引き継ぎに苦慮している会社も多いため、事業継承支援も必要
- ⑤若者の市外転出の原因は、単純にしごとがないからではなく、若者が求める魅力が市外にあるからであり、その魅力の深掘りが必要

## ● 主な意見

- ⑥市内の企業が考える企業の魅力と市場（外部）が感じる魅力とは異なる場合がある。日立市の「魅力・強み」についても外部から見てどうかという観点が必要
- ⑦若者はしごとを選ぶ上で、イメージや周囲からの見え方を意識していると感じる。想像力や意欲を掻き立てるようなオフィスの環境整備等によるブランディングやイメージ戦略も、若者の市内企業への就職のきっかけにつながると考える
- ⑧慢性的な交通渋滞は、仕事と日常生活の両面で大きなストレスになっており、住みづらさにつながっていると感じる





# 不動産業者ヒアリング

# ● 主な意見

## 【賃貸物件について】

- ①ファミリー層が賃貸物件を探す際の主な条件は、「家賃7～8万円」、「間取り2LDK」、「駐車場2台以上」が多い
- ②駅周辺の物件は駐車場が付いていない場合もあるが、転勤等で東京圏から転入した方は車を所有していないことも多く、駐車場が無くても人気は高い
- ③市内で希望する賃貸物件が見つからない場合は、ひたちなか市や東海村周辺で探す方が多い
- ④賃貸物件は新築のニーズが高いが、日立市は他市と比べて新築物件が少ない印象
- ⑤賃貸物件の建替やリノベーションに二の足を踏むオーナーが多い。理由としては、投資回収ができるのかという不安が大きい。結果として、古い賃貸物件の空室率が高い状況が継続

# ● 主な意見

## 【住宅購入について】

- ①住宅購入のきっかけは、「子どもの就学」、「賃貸物件で希望する物件が見つからなかった」ことを理由に検討し始めることが多い
- ②希望予算は土地＋建物で 2,000万円程度が多い
- ③起伏がない平坦な土地が人気があるので、平坦な土地を求めて、ひたちなか市や東海村に住宅を購入する傾向が高い



# ハローワークヒアリング

# ● 主な意見

## 【日立管内の最近の雇用動向】

- ①平成29年度の求職状況は、日立公共職業安定所に通い始めた方のうち、平均40%程度が在職中。県平均も40%程度、埼玉県等では20～30%程度であるが年々増加傾向
- ②日立管内の雇用形態は有期雇用が多く、正社員求人割合（全有効求人数に占める正社員求人数）は40%程度であり減少傾向。県内の他の地区の正社員求人割合は微増傾向であり、県全体で見ると増加傾向

# ● 主な意見

## 【市内の大学・高校の就職動向】

### ①茨城キリスト教大学

在學生は地元出身者が多く、地元就職希望者も多いが、事務職を希望する学生は、市内の就職先が見つからず、つくば市・水戸市で就職する傾向

### ②茨城大学工学部

地元以外の出身者が多く、就職先としても東京本社等を希望する学生が多い

### ③市内高校

就職を希望する生徒は、90%近くが地元での就職を希望

# ● 主な意見

## 【その他】

- ①若い人が希望する職種は事務や販売であるが、市内には求人が少なく、結果としてつくば市や水戸市に就職することが多い
- ②製造業の求人については、地域によって業務内容が異なる。  
日立市：金属加工が多く比較的男性向け  
高萩市：部品組み立て等が多く比較的女性向け
- ③日立管内は、高萩市からの求職が多い
- ④求職者の就業意向には、まちのイメージや活力という部分も影響していると感じる